

# 学友会 (関西)



1992

Dedicated To International Peace and  
International Understanding



YO NE YA MA 8

# 目 次

## エッセイ

信頼醸成 .....	魏 栢 良 .....	1
「戦争と平和」 .....	湯 浅 恭 三 .....	2
人間は同じ .....	児 玉 隆 夫 .....	5
我が家の歳時記 .....	牧 正 治 .....	7
国際交流に緑の地平線を .....	山 中 千代衛 .....	9
「私の日本語におけるエピソード」 .....	文 燕 友 .....	11
卒業を控えて .....	曾 麗 蓉 .....	13
着物で茶道を見学したこと .....	王 幸 珍 .....	14
ふるさとの結婚式 .....	劉 立 民 .....	15
アートする心 .....	金 美 貞 .....	17
小さな体験 .....	金 京 浩 .....	18

## 専攻物語

『夜明け前』 .....	尹 美 蘭 .....	20
『日本語の程度副詞』について .....	紀 惠 珍 .....	23
最近の生産加工技術の傾向 .....	崔 桓 .....	25
苦楽の平行線 .....	王 石 明 .....	28

## もっと知ってもらいたい国

マレーシア .....	李 慶 忠 .....	32
大韓民国 .....	金 福 煥 .....	34
香港 .....	區 瑞 霞 .....	36

## 特集/海外の動向

奉仕は私の職業 -ソウル麻浦R.C.林隆義会長- .....	千 文 奉 .....	37
--------------------------------	-------------	----

## OBの紹介

安 春植 .....	39
重光世洋 .....	39

出会い .....	佐 藤 和 子 .....	41
-----------	---------------	----

NEWS .....	44
------------	----

米山奨学生学友会(関西)会則 .....	45
----------------------	----

米山奨学生学友会(関西)細則 .....	46
----------------------	----

米山奨学生学友会会則「各大学代表」についての細則 .....	50
--------------------------------	----

会計収支決算報告書 .....	50
-----------------	----

米山奨学生学友会(関西)役員名簿 .....	52
------------------------	----

米山奨学生学友会(関西)各大学代表 .....	53
-------------------------	----

米山奨学生学友会(関西)機関誌発刊を援助する会 .....	54
-------------------------------	----

編集後記 .....	55
------------	----



## 信頼醸成

米山奨学生学友会（関西）

会長 魏 栢 良

(Wi, Back-Lang)

人は勿論のこと、生体界に生きるものはそれなりの像をもっている。人にいえば人生像、世界像そして宇宙像というものをもっている。それぞれの像に自分自身を位置づけ、像と自己とが正しい誤解のないしっかりした関係を保つことができたら心身ともに安定することができる。人々が皆そのような状況であれば、平和と安全が確保できる環境の実現の可能性も高い。しかし自分の描く像と現実との間のギャップが大きく、矛盾を抱えていると心身は安定せず、不安と焦燥がつきまとうのである。このような状況は他人に対し、不信、憎しみ、対立の感情を生み出すのである。

今日人々はそれぞれがどのような像に自分を位置づけ毎日を過ごしているのだろうか。人生像からいえば自分や家族が描いた像通りの人生を送っていると確信をもてる人がどれくらいいるであろうか。

世界像においても、東西関係の軍事面においては、若干の緩和の兆しが見え始めてはいるものの、南北問題は以前として厳しい状況にある。特に戦災によって生み出される難民、貧困による惨事は毎日のニュースのトップであるといっても過言ではない。

宇宙像を考えると、今や宇宙は軍事衛星、商業衛星、各種実験衛星がとびかい、常に最先端技術の産物が落下してくる気がする。「スターウォーズ」も何のことはない、宇宙を破壊と殺戮の場とするイメージ作りに貢献した。少年の頃見上げた夢と希望と伝説に満ちた宇宙はもはや存在しない。

人間は人類像を描きなおす必要が差し迫っているのではないか。子々孫々の平和と安全が確立された像を今一度設計しなおす時期にきているのではないかと痛切に感じる今日である。真の人類像には信頼という柱が必要である。

「信頼」とは信じて頼ること。頼りにできると信じること。また「信」とはまこと、疑わないことである。そして「醸成」とは酒、醤油、味噌等を醸し出すこと。転じてある情勢を作り出すことである。(岩波国語辞典) すなわち「信頼醸成」とはまことの心が通い、疑わない、様々な物事に真実が存在し、相互理解のもとで長所をいかし、短所を補い合う共存共栄の状態を促進し、その実現の基盤を作り出すことであると思われる。

人類はその知恵と財力を様々に費やしてきた。しかし民族間、国民間そして人類的、地球的規模での「信頼醸成」のためにどれほどのものを費やしてきたかははなはだ疑問である。これまでの科学を始め、政治、経済、社会の各分野は力と物のみを追求しすぎてきた。そのツケは相互の不信という形で我々にまわってきている。

「信頼醸成」という土台が我々の人類像の中に息づく時、平和と安全が生き生きと成長する世界となる。平和と安全の世界で自分の描く像に乾杯をあげるためには「信頼醸成」基金が全世界的な規模で必要である。自由、平等、人権等の諸権利の確立よりは、個々の権力と富のみにとりつかれている人類に、「信頼醸成」への投資が要求される時代が到来している。

この「信頼醸成」に一役買っている「米山奨学金」。そこから真の人類像の土台となる「信頼醸成」の泉が湧き出すことを願って止まない。



## 「戦争と平和」

ロータリー米山記念奨学会

理事長 湯 浅 恭 三

学友会の皆様の御健康と御活躍を祈りつつ、ただ今私の考えていることを申し上げたいと存じます。

「戦争と平和」ということは、どこでもいつでも重大な問題であり、考えなければならないことです。最近では世界のあちらこちらで大変なことが起こっております。湾岸戦争はその最も大きな出来事だと申せましょう。第一次・第二次世界大戦を経験した私としては、戦争というものが如何に悲惨なものであるかということ、強く体験し今でもはっきりと覚えております。と同時に平和というものが如何に有り難いものであるかを実感しております。そこでこの度は、戦争と平和について私の考えていることの一部を記して米山学友会の皆様にもお考えいただきたいと存じます。

平和ということについて少し考えてみましょう。平和の反対は戦争ということになりますが、これもいろいろ皆様のお考えによって、平和の反対は何であろうかということが考えられますが、普通考えられるのは、平和の反対は戦争で、戦争ということについても、これまたいろいろ考え方があると思いますけれども、私はこういうふうと考えております。

「戦争は人間の本性に深く根ざしている。人間には所有欲があり、復讐欲があり、自己の宗教的信念、政治的見解を相手に押しつけようとする欲望がある。それらの感情が生まれる原因には、欲求不満があり、欲求不満の原因には世界の人的・物的資源や能力の不公平な分配や使い方というようなことも考えられる。収入や資源の不公平な分配ということは、個人個人にも存在するし、国と国との間にも認めることができる。個人間の、そしてまた国と国との間の生活水準の相違はなかなかなくなる。幾百万の人々が年毎に飢え死にをし、幾百万の人々が栄養失調で苦しんでいるという事実を我々は知っている。

世界中の成人の三分の一は完全な文盲であるということがいわれているが、このことは言葉を換えて言えば、その人々は現代において、世のためになり他人の役に立つ仕事ができないということでもある。しかも人々の飢餓を知り、教育の必要を知りながら、世界中の国家の指導者たちや政府は、その富の大きな部分を軍事目的のために費やしているのが実情である。」というふうなことを、私は十年以上も前に考えてお話ししたこともあります。

国際連合は、1982年の国連総会で「国際平和年」を設け、1985年10月24日の国連創立40周年記念式典で正式に宣言せられました。国連の「目的と原則」は、「国際平和と安全の維持」となっております。その詳しいことは、ここでは省くことに致します。

われわれ日本人が平和な時代を長く楽しんでいるということは、非常にありがたいことであり、また珍しいことだと思います。しかしこれはわれわれだけではなく、世界中でこの平和ということのをいかに望んでいるかということであって、われわれも何とかしてこれを実現し、継続して行かねばなりません。

それにつけても、私は若い時、高等学校時代は京都の三高にいたのですが、その当時、「To Know Is To Love」「知るということは、愛することである」という言葉を、だれか外国の方からお聞きして、非常に心を打たれました。知るということは愛することである。知らなければ愛することは難しい。だから私は世界を歩いて外国を知り、また多くの人々に会って相手を知るということを一生かけてやりたいと考え、また事実、やってまいっております。

皆様のお仕事や環境は異なっていると思いますけれども、外国を知り、外国の人々を知り、外国の文化を知り、また、キリスト教に興味をお持ちの方は、宗教、殊にキリスト教を通じて外国を知ることが出来ますし、私達の一番交渉の多い欧米はやはり、キリスト教に基づいてきておりますので、文化も道徳も法律も、いろいろな社会制度もそのバック・グラウンドにはキリスト教があると思っております。

中国では、ご承知のように、仏教・道教などがありますが、また私達のあまりよく知らないイスラム教徒が相当たくさんいるということもわかってまいりました。そういうことについても、皆様、どうぞ機会がありましたら、いろいろな方々と話し合っって皆様のお国のことを外国へ紹介し、外国の事情を少しでも多く知っていただくのが、やがては国際理解、国際平和につながることはないかと思っております。

最後に私は、この平和ということにつきまして、皆様よくお聞きおよびのアッシジの聖フランシスの言った「平和の祈り」を思い出しております。

神よ わたしを

あなたの平和のために用いてください

憎しみのあるところに 愛を

争いのあるところに 和解を

分裂のあるところに 一致を

疑いのあるところに 真実を

絶望のあるところに 希望を

悲しみのあるところに よろこびを

暗闇のあるところに 光を

もたらすことができますように

助け導いてください

神よ わたしに

慰められることよりも 慰めることを



## エッセイ

理解されることよりも 理解することを  
愛されることよりも 愛することを  
望ませてください

これが「平和の祈り」の一部です。

ユネスコの憲章の中に「戦争は人々の心のうちにはじまる。」と書いてありますが、私は、平和もやはりそうであって、われわれの心の中から生まれるものと信じます。一人一人が強く平和に向かって進むことが一番大切だと信じております。

ローマの教皇ヨハネ・パウロ二世も

戦争は 人間の仕業です

戦争は 人間の生命の破壊です

戦争は 死です

と言っておられます。



## 人間は同じ

大阪市立大学理学部

教授 児玉隆夫

先日、米山奨学生修了者の歓送会に招かれ、初めて出席させて頂いたのですがびっくりしました。私は一緒に研究を進めている院生が米山奨学会のお世話になっていることは勿論知ってはいましたが、それがどういう組織でどのような活動をしておられるのかについてはほとんど何も知らないまゝ会に出席し、国際ロータリーと其中で果している日本の役割の大きさを知って正直驚かされた訳です。たゞたゞ自分の不明を恥じるばかりでした。

その席で何か国際交流や親善について小文を書くことを依頼され、二つ返事でお引き受けしたものと書いて書く段になってハタと困ってしまいました。私は物理学を専門にしております。その仕事の関係でアメリカやヨーロッパにしばらく住んだことはあります。また、研究上のことで外国の人達との交流はありますが、いつも仕事を介していると云いますか、それを中心にお付合をしてきたように思います。外国に居る時は親しい人の家に招かれたりこちらもお招きしたりも何度か経験しましたが、どうもあまり「交流」とか「親善」というのを意識しなかったように思います。

それで、私の乏しい経験からなのですが、考えてみますにどうも「人間は同じ」だという事です。生れ育った環境が異なれば物の見方、考え方や生活様式など多くの点で違いがあるのは当然の事です。しかしその違いの中味も話しを伺ってみると大抵の事は納得がいったように思います。もちろん、すべてがスムーズに理解へ到達する訳ではありませんし、また深刻に意見が別れるような事柄については話題にしていなかったからかも知れません。それでも私は意志疎通さえできれば、お互いに何んとか分り合えるものだと考えています。また、外国の人と接することで物の見方、考え方に巾ができて少しは精神的に豊かになったのではないかと考えております。そういう意味でいろいろな国の人と接することは、国を越えて交流の絆ができるにとゞまらず、各個人にとってもプラスは大きいものがあります。

最近我国では国際化がさかんに云われています。もっと人的交流を計って相互理解を深めようという訳です。確かに東京などへ行きますと外国の人が増えたことを実感しますし、大学の中も然りです。また、日本から海外へ向う人は年間1千万人におよぶとの事です。これだけ多くの日本人が外国を見て廻ることが相互理解にどれだけプラスになっているのかについては私には分かりません。たゞ私は日本の国際化とは日本人がどれだけ多く外国の事柄を知っているかではなく、日本を外国の人にも住める国にすることだと考えています。もちろんこゝでは法的なことを云っているのではなく、我々の外国の人に対する姿勢を云

## エッセイ

っているつもりです。住んでみて初めてさまざまな問題が浮び上がり、それを何とか解決する努力の中から共通理解と国際化が進むのではないかと思います。そう考えてみますと留学生の皆さんとその滞日生活を物心両面から支えておられる国際ロータリーのメンバーの方々こそ、私の定義での日本の国際化への努力を実践なさっておられるのではないかと思います。留学生の皆さんの問題提起こそ、私達に目を開かせる契機を与えてくれることとなります。





## 我が家の歳時記

高槻R・C 牧 正 治

私は日本の古都京都に生れ育ち、そして同じく京都生れの妻と共に、此の地で暮して来た。従って我が家の歳時記は、一般的な京都の家庭のそれと云えるかも知れない。

先づ我が家の新年は、元旦のおそ煮から始まる。おそ煮とは白味噌汁に餅と大根と小芋等を入れ炊き上げたものである。

食卓をかこみ、家族互いに新年の挨拶をしてから、箸をとる。

正月には近くの神社へ家族と共に初詣をし、家内安全と健康を祈る。この初詣は日本全国の風習で、特に宗教的な行事ではない。

2月の立春前日を節分と云い、邪鬼を追い出し福の神を招来することを祈るため、京都では特定の社寺へお参りする。この風習も現在は特別に宗教とは関係なく、殆んどの家庭では出かける。そしてその夜、各家庭では「鬼は外、福は内」と唱えながら豆をまき、一年間の無事息災を祈る。

3月3日は桃の節句と云って、女の子のいる家庭では一對の男女のひな人形を中心に、官女や五人ばやしの人形を飾り、ひな祭りと呼んで女の子の成長を祝う。

春分の日(3月21日)は、春のお彼岸と云い各家庭では先祖のお墓へ花を供え、冥福をお祈りする。

4月は何と云っても桜の花見である。京都は桜の名所も多く、特に円山公園や嵐山が有名である。然し、陽気に誘はれ見物客も多いので、反って郊外の静かな風景の中で、所々に咲く桜の花見の方が風情がある。

5月に入ると木々の新緑が一段と輝き、一年間で最もさわやかな季節を迎える。5月5日には端午の節句と云って、男の子の居る家庭では屋外に鯉上りを立て、屋内では勇ましい武者装束をした人形を飾り、男の子の成長を祝い、ちまきや柏餅を食べる。

6月の陰気な梅雨が明けると夏がやって来る。

京都の夏は盆地のため、極めて気温が高くなるが、市民の祭りとして有名な「ぎをん祭り」がその序章を告げる。市街地の中を巨大な山鉾が、何十基と練り進む光景は迫力十分で、吾々市民の誇りでもある。

暑い夏も8月16日の盆の大文字の送り火を迎える頃から、朝晩もめっきり涼しくなり、秋の気配が虫の声と共にしのび寄って来る。

此の送り火の行事は、京都独特のもので、先祖の精霊を送る佛教に因んだ行事である。

「暑さ寒さも彼岸まで」と昔から云い伝えられている様に、秋のお彼岸(9月23日秋分

## エッセイ

の日)を迎える頃から、本格的な秋が訪れて来る。春のお彼岸と同様、各家庭共先祖のお墓にお参りをする。

朝夕が一段と冷え込み霜が降りる頃になると、紅葉が一段と映え、秋祭りも方々で行われる。特に古都千年の歴史風俗を再現した時代祭は有名で、観光的価値も高い。

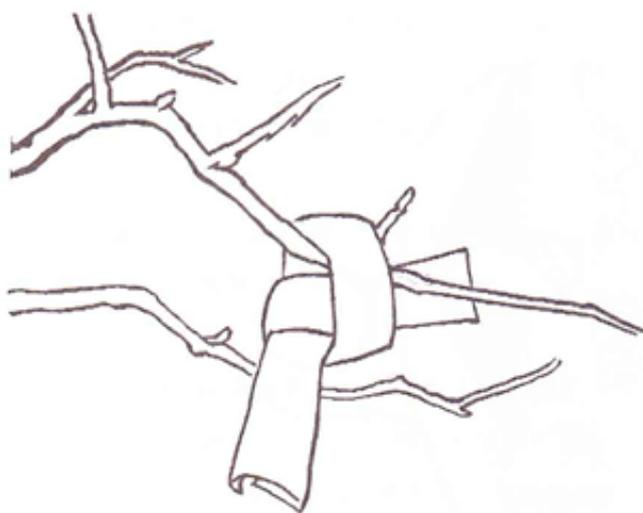
一方もみじの名所も多く、その華麗な色彩で全山が映える嵐山の景色はすばらしく、行く秋を惜しむもみじ狩の客でにぎわう。

そのもみじも散り木枯しが吹き始めると、急に京都特有の底冷が強まり、冬が押し寄せて来る。その冬の到来の合図が、南座の顔見世興業である。日本の東西の歌舞伎役者が顔を揃えて、伝統的演劇である歌舞伎を競演するもので、京都の一年をしめくゝる行事になっている。

以上、京都の年中行事とそこに住む者の関わりを述べて来たが、私は日本の古都である此の町で、古い歴史と伝統の中で、生活出来ることに誇りを感じている。

留学生の皆様も、夫々の御国の素晴らしい文化や風俗、習慣を大事に受け継いで戴きたい。

そしてお互いの国の文化を尊び、理解を深め、心温まる国際親善を図りたい。





## 国際交流に緑の地平線を

財団法人レーザー技術総合研究所

所 長 山 中 千代衛

大阪大学名誉教授 姫路工業大学学長

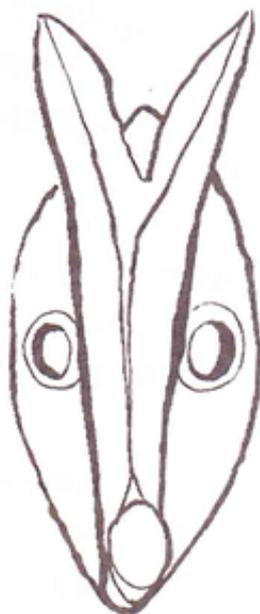
私は、1972年に大阪大学にレーザー核融合研究センターを開設した。これは、米国のローレンスリバモア国立研究所のレーザー研究計画と常に対比され、世界のレーザー核融合研究を2分していると言っても過言ではない。超大型のガラスレーザー「激光Ⅺ号」は太平洋をはさんでリバモアのレーザー「ノバ」と、またCO<sub>2</sub>レーザーではわが「烈光Ⅻ号」がロスアラモスの「ヘリオス」と競合してきた。その結果、英国 ラザフォード研究所、ドイツ マックスプランク量子光学研究所、フランスのエコールポリテクニークのレーザー研究所、イタリアのフラスカッティ研究所、米国のロチェスター大学レーザーエネルギー研究所、ソ連の一般物理研究所、また近くでは、中国の上海精密光学研究所や韓国の諸大学から引きもきらず多くの共同研究者が来訪し、滞在し研究にいそしんでいる。これらの国の研究者は、一人ひとりそれぞれの国の特徴を身につけており、日常の交流でも全く興味津々たるものがある。それぞれの民族にはそのアイデンティティーがあり、独自の主張が見られる。しかし幸いなことに科学というユニバーサルなフィールドでは、共通の立場にあり、互いに同志と言えるのは科学者冥利につきると申さねばなるまい。

かつてわが国では、ものの「あわれに根ざす日本文化」、「こまやかな日本の情緒」は外国人にとつて理解されないものだという独りよがりの意見がまかり通っていた。そして、日本文化特殊論が幅をきかした一時期があったように思う。これなど全く世界を知らぬ島国根性の一端のあらわれであろう。確かに日本人にはやや偏狭な集団主義的パラダイムがあり、原理原則より実利を重んじる気風がある。これと諸外国の原理主義的なアイデンティティーとは、往々にして相いれないとされている。しかし21世紀を展望すると、もうそこにボーダレスの新しい時代が来ようとしている。各国民は、ポスト近代化の進展と共に新しい原理、すなわちそれぞれの民族的、国家的アイデンティティーを保存しながら互いのアイデンティティーを結び合わせるグローバルな立場が求められるのではなからうか。一般社会においても科学の世界と同様に、国際交流に緑の地平線が展望できる秋が来ようとしている。

私は、1987年大阪大学を退官し、財団法人レーザー技術総合研究所を開設、ここで自由電子レーザーの研究を展開する計画をたて、米国、フランス、中国の研究者を採用し、国際協力研究チームを編成してきた。昨年10月、急に兵庫県立の姫路工業大学の学長に補せられ、新しく西播磨テクノポリスにおける大型放射光研究施設SPring 8による研究に向けて国際協力体制を考える立場におかれている。科学では世界人類の歩む道は一つなので

ある。

今年度は、大阪ロータリーの米山奨学会の委員長として若い留学生諸君のお世話をさせて頂いた。1953年に米国MITに留学した時の体験を、今度はお返しする番だと思っている。青春の日々に留学の機会を持つことは、本当に素晴らしいことである。米山学友会の皆様が「明るく、楽しく、未来のために」日本留学の年月を充実して過ごされるよう心から祈っている次第である。お役に立てば何なりとお手伝いしたいと念願しているので、どうぞ気軽に連絡して下さい。(0797-34-1481)





## 「私の日本語におけるエピソード」

文 燕 友

帝塚山短期大学 講師

日本に来ている留学生である我々は、否応なしに「日本語」ということばを媒介に言語生活を営んでいる。そしてまた、日本語を勉強する際には誰しもが少なからずの試行錯誤を冒しながら上達して行くであろう。

私は、韓国のソウルにある誠信女子師範大学（現誠信女子大学）の外国語学科（日本語専攻）で日本語を学んだ。今回は、私の大学三回生の時のエピソードを一つ紹介しよう。

当時、私は大学の先生のご紹介により、韓国に派遣されている日本人商社マンの奥さんと、会話の勉強をする機会が得られた。その時の勉強は、以後、私の日本語に、またそれ以外の面においても多大な影響を及ぼしているように思える。話を戻すと、私とその日本人の奥さんとは、日本語の会話の勉強はもちろんのこと、一緒に野外に遊びに行くなど、個人的にも大変親しくつき合うようになったが、ただ一つ私を困らせることがあった。それは、いろいろな用事、連絡などで、たびたび電話することがあったのだが、その電話のやり取りがどうもうまく行かないことが多かったことである。私は、電話をかける前には、自分で話す内容を予め作文して、頭の中で整理し、組み立てて、何度も口にし、練習した後を受話器を取ることにしていた。たとえば、電話をかける時に必要な日本語の表現としては、

- ①A もしもし、山田さんのお宅ですか。
- ②B はい、山田です。
- ③A 山田さんはご在宅ですか。（山田さんお願いします。）
- ④B どなたですか。
- ⑤A 鈴木と申します。
- ⑥B ちょっと待って下さい。

（注）③以下は、順序変更あり得る。

のようなのが考えられる。当時の私は、わずかにいえる日本語の中から、上述のようなやり取りを想定して電話をかけるのだが、毎度のことで、考え通りにことが運ばれなかったのである。それは、たいていの場合、電話をかけた私が、「もしもし」といった瞬間（「山田さんのお宅ですか」をいう前に）、相手から「はい、山田です。」といわれてしまうからであった。自分がいうチャンスを一度逃すと、後は慌ててしまい、次に自分がいおうとしていた用件などをまともにいえなくなってしまう始末で、苦い思いをしたのである。向かい合っただけの会話ならば、多少不正確な点があっても、なんとなく通じ合えることもあろう

が、電話という特殊な条件のもとでは、ちょっとしたことで、何度も練習したはずのことばがうまくいえなかったり、相手に伝えられなかったりするようである。このようなことを何度も繰り返し経験しながら、外国語の難しさをしみじみと感じた次第である。来日してからも、程度の差はあってもやはり同じことをたびたび経験した。この繰り返される私の失敗(?)は、どうも韓国での電話のかけ方と無関係ではないように思える。韓国では、一般の家庭に電話をかけた場合、電話口に出た人が先に自分を名乗ることは少ないように思われる。つまり、韓国では

A「もしもし、山田さんのお宅ですか。」

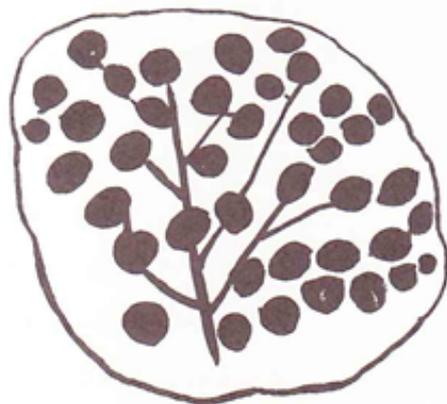
B「はい、そうです。どなたですか。」

A「私は鈴木と申しますが、山田さんをお願いします。」

の順でいうのが一般的である。今から考えると、実になんでもないことであるが、なぜそうもたびたび慌ててしまったのかが、不思議にさえ思える。

ついでに、電話に関わるエピソードをもう一つ紹介しよう。

以前、神戸大学に書類を郵送する必要があり、大学の住所を電話で聞いたことがあった。相手の人はさっそく大学の住所は「コウベシ ナダク……」と伝えてくれたが、私は灘区の漢字を確かめようとし、「ナダ区の「ナダ」はどんな漢字を書きますか。」とお尋ねした。すると、相手はなんだか説明しにくそうな声で、「ええと、三水偏(シ)に、(一秒くらいの間をおいて) 難しいですけど……。」というのである。瞬間的に私は、相手の人が「灘」という漢字を口で説明するのが難しいというのだと判断し、「それでは結構です。こちらでお調べいたします。」といて、電話を切った。ところが後で、住所を調べたところ、問題の「灘」という漢字は、なんと三水偏(シ)に「難」という字を書くのではないか。そこではじめて、自分が相手のいうことを誤解したことに気づいたのであるが、どうすることも出来ず、苦笑するのみであった。どうしてそのような誤解をしたのか考えてみると、上述したように「灘」という字の説明の際に、三水偏(シ)に「難しいという字を書きます」と言わず、三水偏にといった後、一瞬間を置き「難しいです」といったところに、誤解の余地があったように思われる。このような失敗も、やはり、電話だからこそ起こり得るのではないかと思うのである。





## 卒業を控えて

曾 麗 蓉

天理大学 外国語学部

日本での留学生活で様々な貴重な経験と学習をしてきました。私がいつも思っていることの日本に来てから一番勉強になったことと言えば、日本を理解したと言うことよりも日本を理解したということによって自分の国や自分のことを別の角度から見られるようになり、理解できるようになったということかもしれません。“外国”というものは時として自分の国を映し出す“鏡”の役割を果たしてくれるのではないかと思います。

日本に来る前、日本に対する印象はあまり良くありませんでした。しかし、日本に来て自分の目で日本を見、自ら日本人と接していくことによって留学前の日本、日本人に対するイメージが少しずつ変わってきました。又、生活していくうちにあいさつことばや日本人の自然に対する感情などがすべて勉強になりました。その中に、日本に感心したことと言えばまず浮んでくるのは日本の謙虚さでしょう。日本は猿のように何でもまねをされると言われますが、しかし、それはただのまねだけではないと私は思います。日本は文学、技術、学問など、中国や外国からいろいろな文化を受け取り、その精髓を吸収して、新しい文化を生み出します。その過程では、やはり自分の謙虚さを持ち、相手を尊重し認める気持ちがなければ相手のすぐれたところを受け取ることができないでしょう。それに対して私の母国で言われている“中華文化”にはおごりがあって外国の文化に対する謙虚さが足りないのではないかという疑問を持っています。日本での生活はもちろんいやな事もありましたが、しかし、それ以上にたくさんの良い経験をし、勉強になったと思います。留学の大事な役割と言えばその国のすぐれた所を身につけて、悪い所や間違いをくりかえさないように戒めなければならないということだと思えます。

四年間の大学生活をふりかえてみると最後の一年間もっとも有意義な日々を送りました。初めての卒業論文「日本統治下における台湾新文学運動—『南音』雑誌を中心として」というテーマで書くために資料を収集、閲読し、五十八年前の故郷の先人たちが努力した足跡を辿りながら、当時の社会状況と歴史背景を理解していくうちにまるでタイムスリップしたような気持ちになりました。歴史背景を分析し、当時の社会、文化の様子を理解することは現代における私達の社会、文化の様子を客観的に理解することにつながるのではないかと思います。日本で日本の視点から自国の言語や文学、歴史を少し勉強してきた私は環境に恵まれていると思います。来日してからいろいろな人びとと交流することができ、一年間を米山奨学生として過させて頂き、ロータリーでの諸活動に参加したことにより、社会的知識も広めることができました。長い間それらの経験を与え、成長させて下さった人びとに感謝しております。



## 着物で茶道を見学したこと

幹事 王 幸 珍

大阪芸術大学 工芸学科

町で着物を着ている女性の姿を見るとすごくうらやましいです。あんなに美しい着物をいつか私も着られるようになりたいと憧れていました。

十一月二十二日は私が日本に来て一番楽しかった日だと思います。というのは、この日芸大の留学生はみな着物を着て、茶道の見学に行くことになったからです。

この日の朝、私は髪毛をアップし、そして先生の家に行きました。とても綺麗な着物に私の目は陶醉させられました。先生の娘さんはあんな素敵な着物を持っていて本当に幸せだと思いました。着物は先生に着せて貰いました。足袋から始め、ジュバン一枚、二枚など重ねて着せてもらったのですが、私は細いから、腰のところにいっぱいタオルを付け、最後に着物を着て、帯をぐるぐるまきました。後ろの帯は蝴蝶のような結び方をして、小物も一緒につけました。さすが日本の着物です。先生は着せながら「きついですか。大丈夫ですか。苦しいですか。」と聞きました。「いいえ、気持はぜんぜん悪くないです。」と私は言いました。以前友達に、着物を着るととても苦しいと聞いていましたが、私は気になりませんでした。美しい着物を着ると夢みたい、口では言えないほど嬉しかったです。

先生と一緒に着物を着て、家を出ました。先生は「二人は母娘みたい、お見合いに行くようです。」と言っていました。私も日本人のような着物を着て、町を歩きました。憧れの夢が現実になりました。留学生達は私を見て、「きれい……素敵……」「nice……Beautiful」と言ってくれました。ほめられている私の心は花が咲いているように嬉しかったです。

堺市の大安寺で初めて、茶道を習いました。皆、正座して、痛い痛いという声が聞こえました。私達は、みんな正座になれていないからです。特に男の人はつらそうでした。先生はいろいろ説明をして、茶道に使う道具なども教えてくれました。一人ずつお菓子を取って、食べたあと、お茶を貰って、ちゃんとお礼を言いました。茶道はいろいろなルールがあります。お茶碗は二回半を左にまわして、三回で飲み、茶碗口をふいて、また二回半を右にまわしました。面白い日本の茶道は面白いけれど結構難しいです。私達も順番にお茶をたてました。

こん回の茶道見学は本当に収穫が多かったです。自分で憧れの着物を着ることもでき、日本の伝統的な茶道も身につけられました。一生忘れられません。



## ふるさとの結婚式

劉 立 民

大阪大学 文学研究科博士課程

去年の暮れに、琵琶湖に面するりっぱなホテルの結婚式場で神前結婚の挙式がおごそかに行なわれた。ひきつづいて、中央大ホールで盛大な披露宴が行なわれた。私の日本人友人の結婚式だった。はじめて日本人同士の結婚式に出席して、本当にうれしかった。日本文化に非常に興味を感じているので、平素から、例えば茶道や、華道を積極的に習い、また各地の神社をまわったり、各地の祭りをフィールドワークしたりしているが、結婚式のようなものは、自分の力ではとうてい及ばないので、この目で生の結婚式を見ることができて、まず友人に感謝したいと思う。

友人の結婚式を目の前にして、私は思わず走馬灯のようにふるさとの結婚式のことを思い浮べた。

中国での、結婚式のパターンは実に多い。五十六ほどの少数民族はそれぞれ独自の習慣によるユニークな結婚式を行う。宗教関係の信者はその教義によって儀式を行う。だから、「略奪婚」(略奪結婚)のようなものもあれば、ウェディングドレスを着て、教会で式を挙げることもある。最近、特に漢民族の場合は、大体下記のパターンがよく見られる。

- 一、新婚夫婦の新居で式を挙げ、その後、レストランで宴会を設ける。挙式と宴会には親きょうだいと両家の親戚、両人の友人と職場の上司や同僚が出席して、かなり人数が多く、費用もかかる。一般的には新郎の友人が司会をつとめ、新郎の親友一人が「証婚人」(結婚の証人)になる。
- 二、複数のカップルが公的な場所、例えば文化宮や市民会館などのホールで共同で式を挙げる。関係部門の責任者は祝辞を述べて、「証婚人」になる。新婚夫婦の代表があいさつした後、お祝いに来てくれた親きょうだい、親戚、友人、同僚の人達と一緒にその場で、映画を見るか、またはプロの劇団の歌劇を見るのが普通で、宴会はない。それで結婚式には殆んど費用がかからなくてすむ。普通これを「集体婚礼」(集団結婚式または共同結婚式)と呼んでいる。
- 三、新婚カップルが挙式をせずいきなりハネムーンに行く。旅先でお土産、特にそのおいしいあめを買ってきて、みんなに配り、新婚の喜びをみんなに伝える。宴会に多額の費用をついやすよりも、ほかの土地に行って、美しい自然と新しい人々にふれあうチャンスを増やすほうがずっと合理的だと考える若者が多くなってきたため、このケースは近年増えつつある。

また中国では、あめと花嫁さんの赤い服は結婚式のつきものとなっている。あめは高価

なものではなく、子供の好物なのに、どうして不可欠かというと、あめは甘いものだから、新しい門出を迎えた新婚カップルの生活が、今後ずっとずっと甘いあめのように続いていることのとえになっているからである。赤い色は中国ではえんぎのいい色とされているので、多くの中国人に好まれる。金・銀糸刺繍入りの赤い絹のチャイニーズドレスを着て結婚式の主人公になるのは、女の子の一生一度の夢である。

あめの甘い味とチャイニーズドレスの赤い色によって作られた結婚式のなごやかな雰囲気の中で、新婚夫婦が主役となって、両家が完全に一体と融合されていて、二人を祝福する。

ところが、日本では、結婚式は新婚夫婦ではなく、どちらかといえば、両家の結婚となっていて、「家」の観念が根強く残されている。例えば、披露宴の席順の配置などから見てわかるように、新郎新婦の席に向かって左側の席は新郎家の関係者で、その右側は新婦家の関係者であって、しかも社会的な地位のある人ほどメインポジションに座る。両家の境界線があまりにもはっきりしていて、私には非常に違和感を持つ。また祝辞の時も、余興の時も決まって新郎側、新婦側という順で交替で一人ずつする。もっとおかしいことに、挙式と宴会がおわるまで、両家の人と同じエレベーターに乗るということだけで「けがされる」という観念が働く。めでたい時に、どうして試合の時のような対抗意識が必要だろうか。もっとリラックスした雰囲気の中で、バラエティーに富んだ形式をもって、新婚夫婦を祝福してあげるほうが自然で、いいのではないだろうか。





## アートする心

首席副会長 金 美 貞

京都市立芸術大学大学院

ひとつの美術作品を目の前において見るとき必要なのは、私達に以前からはっきりと知っていることだけで見ようとする目より、今までの定められた存在意識を無にしてすべてを新しい想像と、おもしろい意味とをもって見ようとする心があれば誰もが芸術の目をもって見ることができるのではないか。

芸術家の目は別に違う世界であるという考え方より、誰もが芸術作品にふれたとき、自分なりに見て、芸術をたのしみ親しいものとして考えるべきである。毎日の生活の中で少しでもアートする気持でいることが大切である。

特に私達留学生は理由なきストレスから、自分をもっと安定した生活ができるようにつとめ、そのような雰囲気の中で勉強ができるように、生活の中に小さなアートを取り入れてみることもいいことである。

ここでひとつ、アートをやさしく考えることができる。つまり、それは、私達がいつも親しくしてきたもの、経験してきた感情（観念などをなくして）、ありのままをちょっと離れた所からみることにより、いっそう新しいアートをたのしむことができる。たとえば大地美術の芸術家をひとつ例にあげると、大自然の土地をテーマとしてアートをしている。

写真家でもあるChristoという芸術家は家の窓にかけるカーテンを野外にもって来て山や谷などに大きなカーテンをかける。山と山との間、これももうひとつの自然の窓として考えている。この作家の作品は本来普通に考えている「芸術作品はかならず、美術館の中にあるべきだ」という観念から離れて、芸術の意味さえも新しく離して考えるひとつの例である。

こうした現代芸術を私達はもっとやさしく日常生活の中から、またアートをやさしく考えてもいいのではないのでしょうか。





## 小さな体験

金 京 浩

関西外国語大学大学院 博士過程

来日してから、始めて外人という表現を耳にして微妙な感じがした記憶がある。

内人（日本人？）が思想やアイデアは受け入れても、外人（外国人）に対して排他的であることも、このことで説明できる。

アイデンティティの次元では、それを守るために、外の人に対して排他的にしなくてはならない。外のものを素直に受け入れては、自分のグループが存在する意味、意義がなくなってしまうからである。たとえばAというグループにBというグループの人が簡単に入れば、Aという意味はなくなるのである。これが人間関係のグループの存在根拠のようなものになってくるから、Bの連中に対して排他的にしなくてはならなくなる。あるいは竹下派とか中曽根派といった関係にも同じことがいえる。「日本」というグループもそのアイデンティティを守るために、「外国人」というグループに対して排他的にしなくてはならない。これは別に日本人が外人嫌いであるという意味ではない。私は外人という言葉は大嫌いなんである。これはたしかに排他的な意味がこめられているが、日本人同士でも、いわゆる“他人”ということを使う。

とにかく日本人は他のグループに対して排他的であるが、ほかの人のアイデアに対してまったく排他性をもたない。外国人の場合には逆である。外の人に対してわりあい寛容であるが、外国人のアイデアに対して排他的である。外国の思想はいくらでも入ってくるけど、外国人を日本人にすることに対してはものすごく排他的で、日本の移民局は、ほんとうに外国人に嫌われている。

日本語と英語には大きな違いがあるのに、日本の新聞は、英語の言葉を思う存分使っている。私の感覚では、言葉は文化の重要な一部分であるが、日本人は言語に関して、自分たちの文化という意識をあまりもっていないようだ。文化というのは人間関係ということなのに……。

韓国でも外国語除外運動をやっている。外来語に対する態度が日本よりずっときびしく、使わないという方向が明示されているようだ。

日本人も外国人にまったく排他的というのではない。人間関係を混乱させない人であれば、グループの中へ迎え入れる。日本の社会にマイナスでなくプラスであれば、外国では考えられないほどまでに歓迎し、吸収する。

私の国だったら、外国人だという意識がいつまでも残り、すこしはギャップを感じるかも知れない。しかし日本の場合はある程度までグループに入ってしまうと、全然ギャップ

がなくなってしまう。われわれの場合は、外国人のアイデアとかイデオロギーを取り入れる前に慎重に勉強する。十分に調べてから完全に身につけるのである。ところが日本は、外国人の思想をまったく抵抗なしに取り入れている。そして同じように簡単に捨ててしまう。外国の場合は、いったん取り入れるとそう簡単に捨てることができない。そういう違いがあること（人間に排他的、思想に寛容）が留學生活の小さな体験によって分るようになった。





### 『夜明け前』

米山奨学生学友会（関西）

神戸大代表 尹 美 蘭

神戸大学 大学院文学研究科

『夜明け前』は、島崎藤村の五十八歳より六十四歳に至る七年間の労作である。その構成は二部より成る。藤村は新生事件でフランスを旅した時、すでに『夜明け前』を構想していたと言われているが、実際にこの作品を書く自信を持つようになったのは「大黒屋日記」を発見した後である。

この作品は、作者の郷里にある「馬籠」を舞台として、嘉永六年から明治十九年にわたっての父の生涯が描かれている。また主人公の悲劇的な死を通じて封建社会の崩壊と明治維新の真相を探求しようとしたのである。明治維新は「下の者」の犠牲を余儀なくされているとし、また、視点においても上の方からではなく、下から見上げた維新を描こうとしたのである。しかし、下民として設定している庄屋・本陣・問屋のもう一つ下には、また農民階級が存在していた。つまり、半蔵のような人達は厳密に言えば中間階級であったといえる。そのことからみれば、真の意味での「下の者」の動きは描かれていない。しかしながら、半蔵という中立的な立場の人を主人公にすることによって、「上に立つ者」と「一番下にある者」を客観的に描き出すことには成功したと思われる。また藤村は街道という地理的な特色も十分に生かして、世界情勢の流れを正しく把握するのに大きな役割を果たしている。

『夜明け前』の中に描写されている歴史的イベントについての叙述の量は極めて多い。初めの場面は木曾に集中して描かれているが、段々それは国内の動きへと幅を広げてゆくようになる。しかし、二部に入ると、またその規模は狭くなって、殆ど主人公半蔵の周囲に止まるようになる。

この論文では、主人公半蔵の悲劇を中心に『夜明け前』を追究していくことにする。二章では、作品の背景として働いている明治維新を主人公はどのようなふう理解していたか。または、彼に絶望を与えずにはいられなかった維新はどんな経路を持っていたかについて調べることにする。三章では、半蔵は何をきっかけに自分の矛盾した立場に気付いたか。あるいはどのような経路で思想の深まりを成し遂げたかについて、そして、四章では、彼の悲劇的な死の背後にはどのような人達が働いていたかについて研究してみることにする。そして、最後に、半蔵はどのような経路を辿って死に至るようになったのかについて探究してみることにする。

外国文明を象徴する黒船は嘉永六年に沖合に現れたという噂から始まって、徐々にその姿を現すようになる。特に、横浜開港は財界混乱を招いた結果となって、一般の人民は生

活に苦しむようになり、幕府を非難し、それは排外熱にもつながる原因ともなった。

諸国には、攘夷論がさかんに言われるようになり、外国人が殺される事件も相次ぎ起こり百姓一揆も起こりつつあった。悪化しつつある社会空気の中で、平田篤胤歿後の門人等も実行を思うようになり、人心も幕府から離れていくばかりであった。そして、幕府が無気力なため人々は自分の立場を主張するようになり、社会は益々混乱に落ちて行くようになる。討幕の声が極度に達していることを悟った十五代目の將軍慶喜は、大政奉還を決意する。明治維新はこういう時代的な背景のもとで、徐々に熟していくのである。

江戸は東京と改められ、都も東京へ移るようになった。そして、新政府は次々と旧制度を改革していく。関所の廃止、本陣、問屋、庄屋、年寄役の廃止、そして、尾張藩を先頭に版籍奉還が実行された。しかし、「御一新」を期待し、推進して来た平田門人として半蔵は、「御一新がこんなことでいゝのか」と憤り、明治政府の方針に期待を裏切られつつ、ついに狂死にいたるようになる。特に、森林事件のため戸長を免職されたことと、祭政一致の理想が崩れて行ったのが半蔵を狂死にまで追い込んだ大きな原因であった。また、真面目に復古を考えていた半蔵には、西欧からおしてくる文明開化の洪水もたえがたい現象であったと思われる。

藤村が明治維新を中立的な位置にある半蔵を通じて描写しようとしたのは、客観的に描き出すためであったと思われる。そして、そのために半蔵は実践家であってはならない。しかし、求道者的性格を帯びている彼の思想は持続性を持ち、平田の思想を純粹に思いつめる性格は、狂死の原因の一つであったと思われる。

半蔵の旅の持つ意味は実に大きい。一生の内の何回かの旅を通じて、彼の思想は深みを持つようにもなり、または世界の潮流を把握するようにもなり、または失敗して人生を誤ることにもなるからである。相州三浦への旅で世界の新しい潮流を悟るような現実的なものの理解を深くしたのである。また、玉滝への旅は「神の心」を感じさせ、畏れを覚えさせた意味での“思想の宗教化”へいかせたので、実践行動とは遠くなり、理想的な傾向をもっと深くしたのに意味がある。伊那の方への旅では先人のいう「上つ世」の意味の理解を深くするようになる。そこで封建制への反抗と現状打破の精神が伺えるのであるが、決してあらには表明されることはない。

半蔵は安政三年に起こった牛方事件によって、自分の立場の矛盾を自覚するようになる。最も軽蔑されていた一番低い階級の人達が、不当な不利益のために戦う。その抗争の対象は問屋であるから、問屋の子である半蔵は敵である。しかし、この当時からすでに、牛方の主張がいかにも正しいものであるか、中津川の問屋がいかにも不正をはたらいてきたかが、半蔵には理解されていたのである。そして牛方のために何も出来ないのを悲しむのである。この立場の矛盾が一生を通じて、半蔵と百姓との間に働き、お互いの理解を妨げたかも知れない。それは、半蔵の百姓に対する片思いによってよく表現されている。

半蔵への悲劇は、理想への挫折、「御一新」への期待の裏切りが原因ではあったが、彼の内部には既に悲劇的要素が潜んでいたとおもわれる。それは「片思い」から始めて、作

品の中によく表現されている「溜息」、または、絶望し続けていくにつれその程度が益々ひどくなる「眠れない」状態などである。

特に、溜息を吐いている半蔵の姿は『夜明け前』の全編を通じて何回も描写されている。彼は自分の立場の矛盾と社会の不正などの直面した問題を、正面からたたきつぶすような積極的な行動派とはいえない性格で、ただ嘆息して悲しむような人なのである。実践にまではいかない彼の思想は、高い理想家である主人公半蔵の内部に向かって深く積もっていくようになる。そして内部に積もるばかりのものであるがため、理想に対しての期待は実践家より持続性を持つようになるのではなかろうか。また、理想が段々挫折していくにつれ、内省的であるだけに絶望も実践的な人よりもっとふかいものであったと思われる。

半蔵が挫折と絶望を味わい、心に傷が出来た時、彼を理解し安らぎを与えてくれるような人物が周りに一人もいなかったことが半蔵を一層窮地に追い込んだ原因の一つであったと思われる。

最後に『夜明け前』の描写の特長について幾つかをとりあげてみる。半蔵の生活圈以外の描写は殆ど手紙と噂とで処理している。また、馬籠の方の描写は生動感があるが、ほかのところを描くときは生々しさを失ってしまうのである。もう一つは、「足音」という動的な表現技法と、「雨の音」という静的な描写がうまく取り入れられて、街道の緊迫感と静かさをよく表現していると思われる。



## 『日本の程度副詞』について

紀 恵 珍

大阪大学大学院 日本学専攻 現代日本語学講座

日本語の程度副詞を、その意味機能と構文の中でどう振る舞っているかを明らかにするため、肯定文・否定文の意味構造や、述語、文末形式との共起関係などから、考察することにする。

先行研究では、副詞を意味的に分類する方法はいくつかあるが、山田(1908)の情態・程度・陳述といった三大分類が有力な学説だと言える。この三類が連続的に交渉しあいながら、相互に異なっている。事柄の側面に傾く情態副詞と程度副詞の間は、情態副詞に属する「よく」が接点として程度副詞とつながっている。話し手の主体的表現である陳述副詞と程度副詞が相違していることは、「決して」と「全然」の疑問文テストから分かる。

彼は 全然 話さなかった か。

\*彼は 決して 話さなかった か。

三類の中で、中間的存在である程度副詞のうち、肯定系と呼ばれる「大変、かなり」などの程度修飾は主体よりの評価がある程度現れているので、通常、否定命題と共起しないと考えられる。他方、否定系と呼ばれる程度副詞「あまり、全然」などは、深層で抽象的な程度を計量化し、主体の否定判断を表すというより、客体化されている表現であるとは言えるかもしれない。

命題内容との共起関係は、森山(1985)によれば、述語に係る程度副詞は、程度または量の、いずれかの側面を修飾するようになる。図1のように、

〈図1〉

	顕在的— a	動作動詞	〈+Q〉
動き	b	漸次的変化動詞(状態化)	〈+D〉
	潜在的— c	思考動詞	〈+Q〉
程度副詞+	d	感情動詞	〈+D〉
非動き	感情表現—	感情形容詞	〈+D〉
	性状規定—	状態動詞	
		性状動詞	〈+D〉
		属性形容詞	
		属性名詞	

顕在的動きを表す動作動詞や、内容的量・時間量を内包している思考動詞の場合などは、具象的量の大小の移動が可能なので、量的程度副詞と共起し得る。漸次的変化動詞や、心

的動きを表す感情動詞や、非動きの文などは、程度性を持っている述語が程度副詞に修飾され得る。勿論、共起しない語例も存している。程度副詞の修飾を受ける述語が、必ず内的属性として、程度または量の「移動的概念」を有していなければならないのであれば、無論、「座る、結婚する、沸く、割れる」などの「テイル」で結果状態を表す変化動詞などと、「正しい、等しい」などの形容詞は、量または程度の移動的概念を有していないことによって、程度副詞による修飾があり得なくなることも理屈にかなっているであろう。

また、図2が示す通り、文末のモダリティとのかかわりによって、Iの「純粹程度副詞」のほか、量的程度副詞を更にII「程度量副詞」とIII「量化程度副詞」に分類できないかと主張する。

〈図2〉

		～シタイ	～テホシイ	～シヨウ・シロ
I	大変	○	○	*
	とても	○	○	*
	すごく	○	○	*
	非常に	○	○	*
II	かなり	*	*	*
	随分	*	*	*
	なかなか	*	*	*
	結構	*	*	*
	相当	*	*	*
	大分	*	*	*
III	少し	○	○	○
	ちょっと	○	○	○
	もっと	○	○	○

IIIの量化程度副詞は、一番客観的、事柄的だと言え、それを働き掛けや、表出、問い掛けなどのモダリティと自由に共起することから証している。程度量副詞と純粹程度副詞の程度修飾は、問い掛け文と共起しないところからより主観的に思われる。特に、程度量副詞は量的用法を持つが、〈+評価〉という意味特徴があって、一人称の感情的表出文に係りにくい。しかも、未実現で、〈+意志〉を表す働き掛け文とも共起し得ないので、共起制限が一番厳しく現れていると見られる。

程度副詞の総合的、体系的記述を目指したので、個別的特徴や、比較表現に関して、扱えなかった問題点がたくさん残っている。すべて今後の課題とする。



## 最近の生産加工技術の傾向

米山奨学生学友会（関西） 大阪府立大学

幹事 崔 桓

大阪府立大学大学院 工学研究科

生産加工の自動化と加工精度の概要を中心に最近の生産加工技術の傾向について簡単に述べてみる。精密加工の現状と将来については紙面の関係上、今回は省略する。

### 1. 精密加工の必要性

最近の機械製品は科学技術の進歩に伴い微小化、巨大化の方向に進んでいるが、巨大化も微小化した部品の集積を意味することは、アポロの例からも明らかであり、更にこれらの高性能化、高信頼性および長寿命などの要求を満たすためには、加工精度を高めることが必須の条件になる。

高精度加工によって得られるメリットは、従来から実現不可能とみられていた種々の製品化技術が可能になることは歴史的にも明らかであり、機械の不確定運動が除かれ、その機能を十分に果たすことができることである。

超精密加工ということが日本でも提唱されて久しいが、これは宇宙航空機のある種の部品精度が百万分の一インチ（ $0.025\mu\text{m}$ ）を必要とし、具体化されたことが一つの端緒になっているが、一部の分野では早くからこの程度の精度がえられており、広い範囲にわたり必要とされるようになった。更に大型電算機などの分野では $1\text{nm}$ （ $0.001\mu\text{m}$ ）の精度が必要と考えられており、我々に身近かなブロックゲージも将来はこの程度の精度は必要とも言われている。

このように高精度、高品質の要求と共に、如何に安価に作るかが生産加工の分野では重要で、このために新しい加工法の開発、各々の加工技術の追求、自動化などの研究が進められている。

### 2. 生産加工技術の動向

生産加工技術は高精度とともに自動化の傾向が大きく進められている。

#### 2.1 生産加工の自動化

従来の加工様式は、多量生産は専用機（トランスファーマシン、その他の自動機等）、中量生産はNC工作機械、少量生産は汎用機が常識であったが、製品の多様化に伴いNCの普及が急速に促進されて、またNCを中心とした加工の自動化は、さらに無人化工場の実現へと進められている。

1) 自動機

作動の確実さと簡単さから現在でも多量生産工場で使用されているが、多種中  
小量生産では段取り替えとが、工程数の制限などから必ずしも有利ではない。

2) トランスファーマシン

自動車、モータ、家電品などの大、中量生産として発展、規模が大きくなるほ  
ど準備時間(試験時間など)あるいは故障時の対策などに時間がかかり、あるメー  
カーでの稼働率は50%とも言われ、さらに製品の多様性から稼働率の低下、作業  
工程の複雑化に伴う信頼性の低下となっていた。

これに対し、従来のリレー回路による制御に切り替え、変更はプログラムの変  
更だけで可能になり、複雑な配線の取り替えもなく、異常時の自動判断(動作監  
視)も的確に行えるようになっていた。

3) NC、CNCマシン

1952年米国で開発されたNCは最も多い旋盤に実用化されており、さらにコン  
ピュータやメモリなどの小形化、低価格からNC装置のほとんどがマイクロプロ  
セッサ構成要素に用いたCNC(Computerized NC)になってきた。

そのため機能もより多くなり、大容量のメモリに数値制御指令データを記憶さ  
せて機械を制御するテープレス運転が可能になっている。さらに指令データを修  
正、削除、挿入なども自由に行える。

しかしながら、NC機による加工精度は、NC装置、サーボ機構の動的精度、工  
作機械の動的精度など、位置決め精度も問題である。

4) マシンニングセンター

NCとATC(自動工具交換装置)を備えたマシンニングセンターは、1958年米  
国にて発表された以来、その性能の向上、適応制御の附加なども考えられ実用化の  
段階に入っている。

このように1台で種々の機能をもたせると必然的に高価格になり、使用範囲も  
限定されるため、より安価で高性能のマシンニングセンターへと指向してある。

5) DNC(Direct NC)

多くのNC機能を効率よく運営する方法として、1台のコンピュータで集中的  
に制御、管理するもので、ミニコンと各機械とは直接結合し、指令データはメモ  
リに蓄えて必要に応じて機械に供給されるものである。DNCはすでに工作機械  
のほか自動車、車輪、鉄鋼などの多方面で実施されており、将来の無人化工場へ  
の重要なサブシステムと言える。

6) CAM(Computer Aided Manufacturing-電算機支援生産)とGT(Group  
Technology)

CAMはNC加工とコンピュータ制御の結合によって自動設計から自動工程計画、自動加工計画、自動生産と検査、自動搬送および自動倉庫（素材、工具、製品などの保管）を行うもので、技術的には実現可能の段階になっていると言われている。

GTは形状、寸法、加工法などが似た部品をグループとして設計の合理化をし、これらグループ別に生産設備、治工具を用意して多種小量生産を能率化しようとするもので、今各方面に応用されてきた。

#### 7) IMS (Integrated manufacturing System—統合製造システム)

工場全体の機能を電算機制御しようというもので、CAMと併行して運営、管理の面からも自動化をするシステムである。これは一つの閉ループで、その入力として製品のニーズと機能を与えると、出力として信頼度の高い製品が最適生産性をもったシステムを通じて出てくる。すなわち、物、エネルギー、情報を含んだシステムで、6)のCAMはこのサブシステムと言える。

#### 8) 自動組立とロボット

ロボットは一般産業ではかなり利用されているが、組立に利用されなかったのは位置決め精度の低精度と速度の遅いことが原因で、加工分野でも工作物の着脱、移動に使用されている。これに対して複合されたいくつかの組立動作を一つのステーションで能率よく行うNCアセンブリセンターの考え方が中小量生産用として提案されている。

#### 9) 適応制御 (Adaptive Control)

これは動的、熱的な誤差要因をblack boxとし、加工中の切削動力、温度、切削力、仕上面あらさなどを適当なセンサーで検出し、その情報に基づいて計算をさせ、所定の条件例えば、加工精度、生産性の工場、工具破損の防止などのメリットが大きい、検出する信号の選定と信頼性の高い検出器の開発が問題である。

### 2. 2 加工精度

要求される加工精度は、その製品または単一部品が十分に機能を満足するものでなければならないが、そのためには合理的な精度設計あるいは精度の解析が必要である。また対象となる材料、形状および寸法に対して必要な加工精度を実現するための加工法は、加工機械、材料特注などを考慮して選定される。

除去加工としては現在機械的方法、電機物理的または電機化学的方法のほかに、これらの複合加工法が採用されている。機械的加工以外のものは主として高強度、高硬度な難削材の組加工または微細加工が対象で、寸法精度のほかに形状精度の要求される一般製品には主として機械的方法が用いられる。



## 苦楽の平行線

米山奨学生学友会（関西）

幹事長 王 石 明

京都大学文学部、美学美術史科で“中国宋代絵画”専攻

近朱者赤、近墨者黒。私は小さい時から、漢医者だった父の影響で筆を持ち始めました。古典文学を愛した父は書の名人として知られて、村の人からいつも婚慶や、寿慶のお祝いの賀联を頼まれました。特に、春節（旧正月）前には春联（一種の大目出たい文詞を書くこと、それを、玄関に貼る風俗である）を書くことで手が離れない。私も墨を磨ったり、紙を切ったり、賑やかな楽しい風景は今でもいい思い出です。こうした耳濡目染の上、私は六才から筆と墨を親しむことができました。

自分も知らず知らずの内に以来三十年、東塗西摸。其の中に喜楽あり、苦澀(苦)もある。長い歳月の中でずっと自分の道を追求して、芸術の乾坤で逍遙し、従来秃筆(秃)を棄てる気はなかった。私がこの道を楽しんでないと誰か信じてるでしょう！だが、勉学の為、郷里をばなれ求道のみち十数年、浪跡天涯、貧病交集、私は苦しんでないとは又誰かが信じていますか？でも、こうした苦楚の中には喜びが伴うから、すなわち真の苦しみといえませんが、私が言った苦しみは芸術、その創作活動の中にあります。芸術観は各人性格の色合によって違うのであるが、芸術は我々の精神生活を高めるものでありたいのです。時時刻刻、自己芸道を省察しての行き続きたったと思っています。芸術家は直接あるいは間接の生活を通して、自分の内面の世界を豊かにしなければなりません。これは“万里の道を行き、万卷の本を読む”ということの意味します。内面の世界の豊かさが、芸術の花を咲せる源泉であります。内から外へ、内があってこそ外があり、豊かな内在的感受性があるからこそ、独特の芸術表現の言葉を探し出すことができますし、独特の芸術風格を創造することができます。尚、東洋芸術家としての私達はもっともっと、東洋の古代名画を勉強せねばなりません。自己の拙作を其れと比較して、自己の短所を自覚し、奮発せねばならないのです。古典名画の回顧は最も大切な要事です。これが近代博物館、美術館などの大きな役割であり、存在です。“古今東西、合而為一”して取精用宏とした学芸の道を拓きたいのです。

自然創造は人類の驚異に値するが、芸術創作も人類の驚異に値すべきであります。芸術上、写実とか写生とかと申します。写実の奥に「表現」があります。芸術創作のよさは、形象を超えて、暗示に象徴にあります。謂ふ所の“以心伝心”ですが、こうした芸術こそみる人の心を魅了して、永遠な芸術として人の心にのこります。さて芸術の世界において「心」とは何か。それは物を精化し、昇華したものであります。すなわち“物心一如”な境地で、人性の深奥所にある至純至真の心の姿でもあり、私はこの数年来こうした内面性のある心のある芸術制作の為に、落ち込んで考える時間、悩む時が大半でした。初めは技

より入った画の表現が、最後には人の表現、あるいは心の表現に至る、究極は全人的、もしくは定人的、達人的表現になって来るものと思っています。

私は二年間のロータリー米山奨学生として、京芸にて日本画の絵の具や制作様式等について研究しながら、大勢の日本の友人とも交流する機会もできました。そして私は毎月頂いた奨学金の半分近くで本を買って、自分の研究図書資料館をつくりました。芸術、風土、文学、哲学等幅広く本を求めて来ました。こうした自分の研究の哀歎を込めた大事なこの書籍を将来、国の若い後進の為に活用させたいのです。これは永久な米山精神の物として保存します。そして今般この場を借りて、拙作三点を発表させていただきますが、この二点馬の絵は前年私が蒙古の写生旅行の作品で、馬の英雄的な姿も自己の心気も合せて、現したものであります。李白は我が好んでいる古典人物であり、芸術は一生を賭しての仕事だし、これからも西欧近代美術思潮について、西欧に旅立ち勉強したい次第です。そして芸術的実践によって物的苦楽を超越して生の真価値を獲得するのです。



天馬行空



雄図万里



歲次戊辰之秋  
魯人石明

李白醉吟圖

## もっと知ってもらいたい国



### マレーシア

米山奨学生学友会（関西）

立命館大代表 李 慶 忠

立命館大学 経営学部

マレーシアはどこにあるか。日本人に聞いたらわからない人がまだ多いです。これはたぶんマレーシアには戦争もおこらなかったし、政治激動もおこらないからテレビのニュースもマレーシアの地図を見せたりしないから、マレーシアに対してのイメージも薄くなってきたのだと思います。でもマレーシア人にとってはニュースのないほうが望ましいです。

マレーシアの歴史は、十四世紀のマラッカ王国から初まるといえます。その当時は、マラッカという町を中心に対外貿易が生まれてはいましたが、これは単に中継貿易の港として栄えていただけでした。その時マラッカは東洋と西洋の貿易の中心港として使われていました。1511年ポルトガルがマラッカを占領しました。その時からマレー半島は植民地統治の時代になりました。たいてい百三十年の貿易戦争とヨーロッパ情勢の変化で1641年からマラッカはオランダの植民地になりました。ポルトガルとオランダの支配下、マラッカは貿易港として発展したが、他のところは全然興味もないので、マレー半島の中でマラッカ以外は全然発展していなかった。

19世紀、イギリスの植民地統治の時代になりますと、ゴムや錫のプランテーションの設立、鉄道や道路の建設、事業に必要な建物の建設、伝道教にまじっての教育の施行など、そしてそれに伴う商業に必要な建物の発展がマレー半島に大きな変化をもたらしました。マレー半島のゴム園と錫の発展に伴って中国人とインド人のマレー半島への移民は、その当時は自由に行われていたので、その数はどんどんふえていきました。1930年に植民地政府が移民制限の規則をつくったときには、もう既に中国人が全人口の34%、インド人が15%にまでなっていました。それは今日に至るまでマレーシアが複合民族国家として成り立っている所以だといえるでしょう。

マレーシアは19世紀から独立までずっとイギリスの植民地ともいえるがその百年のうちほぼ三年八ヶ月は日本軍によるマレーシアの占領の時期でした。太平洋戦争直前ヨーロッパではドイツ軍のポーランド占領で第二次世界大戦が始まった。イギリスはヨーロッパでの戦いでその余力がなくて、マレー植民地の統治には力を入れることができなかつた。マレー人と日本軍の協力で、マレーシアの占領は日本軍にとって一段とやさしくなりました。ところがその当時マレー人の側から見れば、日本軍の占領というのは結局イギリス人と同じことでした。

日本軍の大東亜共栄圏の政策は、すべて否定的なものでなく、日本軍の占領はマレー人に自分で生きることを否応なしに教えたのである。日本軍が敗退する時、マレー人を責任

ある地位に任命しなければならなかった。その結果、イギリスの植民地支配との交代は、彼らに重い責任を与えることになったのである。

1965年8月31日マレー半島とシンガポールでマレーシアという名で独立しました。1969年9月15日ボルネオ島北の方のサラワクとサバを加えてマレーシア14州になりました。直後シンガポールはマレーシアから退出して自由港として独立した。マレーシアの天然資源は非常に豊かだが、70年代に入って一次製品の値下げのため、農業国から脱皮して工業化社会への転換に力を入れました。その上に国内の情勢も独立に伴って改善されました。

独立後、日本との関係が深まった時期は、80年代に入ってからだと思います。1981年12月15日にマレーシアのマハテル首相は、ルックイーストポリシーつまり東方施策と呼ばれる施策を掲げました。日本や韓国からその勤勉さと、個人より集団の精神を学ぶべきだという提言がありまして、日本と韓国への関心が高まることになりました。マレーシアの首相の主張はイギリスの植民地であったマレーシアにおける西洋志向とバランスをとる意味で、東方志向の価値観を導入し、アジアにおいて経済発展を続ける日本と韓国から学ぶことを訴えたものと考えられます。

このルックイーストは日韓両国からの建設業を中心とする企業進出のラッシュとなり、経済成長だけでなくマレーシア国内の複合文化の成長も世界から注目されました。日本は最近国際化を掲げていますがこういう国際化社会の精神はマレーシアではもう二、三世紀前に始まったことです。ルックイーストは一方的に日本のことを勉強するだけでなく、国のことを日本人に知らせることも大事だと思います。





## 大韓民国

金 福 煥

大阪大学 理学研究科

日本から一番近い国として美しい国、人情があふれる国、無限の可能性を持つ国、韓国を簡単に紹介したいと思います。紙面の都合によって紹介にゆけたところは是非とも韓国に直接行って経験して下さい。いろいろ面白いことが山ほどありますから・・・

### 1. 国 土

韓半島の大きさは日本の本州とほぼ同じくらいで、半島の中心部分はほとんど山でおおわれているが西海岸には平野も多く美田に恵まれている。また、韓半島の北は北部アジアに接し、南は日本の南西部と向かい合っているため古くからさまざまな文化を受け入れて独自のものを造りあげる溶鉱炉の役割を果たしていた。一方、韓半島は北部アジアと日本列島をつなぐ陸橋として常に戦略上の要地と見なされ北方民族は日本に攻め入る兵站基地として韓国を必要とした。また、日本もアジア大陸に進出する政略目的で韓国に対する侵略を繰り返してきた。このように韓国はその地政学的位置によって絶えず外部勢力の侵略を受けてたが、平和時代においては文化や思想の両面において中国と緊密な関係を保って日本へ橋渡しも演じた。しかし、韓国は外勢の侵略と略奪という不幸な事実が繰り返されたにもかかわらず、確固たる民族の個性、統一された文化、そして独自の固有な習慣と伝統は連線として受け続かれ、いささかもそこなわれていない国である。

図1

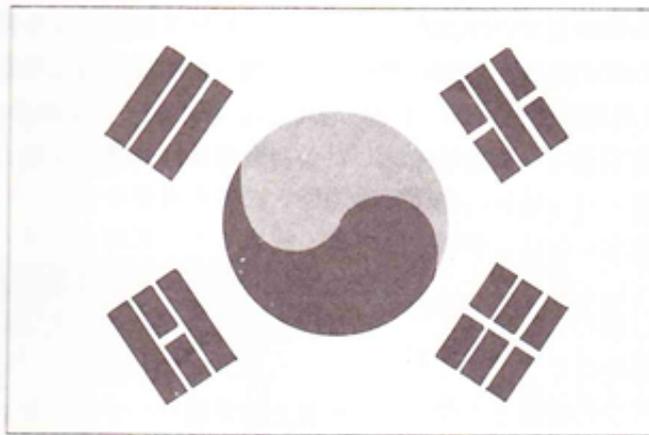


## 2. 建国神話（檀君神話）

天孫桓因（ハンイン）の子である桓雄（ハンウン）が風神（風伯）、雨神（雨師）、雲神（雲師）と共に太白山に下界し、ここで神市を開いて「弘益人間」と言う理念の下に住民を治めました。その後、桓雄は熊女と結婚して子を生んだが、その子が韓国を建立した檀君王侯で、記元前2333年に阿斯達（アサダル）現在の平壤に都を決めて建国、国号を朝鮮と号した。檀君王侯はこの国を約2000年治めてから山の神になったと建国神話で言われている。

図2

## 大韓民国 国旗 (太極旗)



## 3. 国旗

韓国の国旗は太極旗と呼ばれている。この太極旗は東洋の神秘的思想と韓国人の人生観を象徴するものである。太極旗は朝鮮王朝高宗時代の1882年9月に初めて掲げられた。そのころ韓国と日本の間では済物浦条約が結ばれ、この条約を発効させるため特使として金玉均と朴泳孝が日本に派遣された。その際、国旗の必要性を痛感していた朴泳孝特使は日本に向かう船上で太極図に基づく韓国の国旗太極旗を案出して、翌1883年には正式に国旗として採択された。この太極旗は国家の3大基本要素とも言える国土・国民そして政府が、象徴されている。つまり、白い地の部分は国土であり、円形は国民で、四隅の掛け図は政府を意味している。また、この太極旗は萬物の生じる宇宙を意味している。旗の中央の円は2等分されてその中の赤い上の部分は“陽”を意味し、青い下の部分は“陰”を示している。これは古代東洋哲学の陰陽宇宙を意味して火と水、昼と夜、明と暗、男性と女性、動と静、プラスとマイナスなどの融合と調和を象徴する。さらに太極旗の中心思想は無限の世界にも消えざる変化があり、均衡と調和である。太極旗の4隅の三本線は易学の八卦のうちの四卦で対立と均衡の思想を表している。その4隅の三本線のなか左上の切れ目がない3本の線が天を、右下の3本とも切れている線は地を、左下は火（日）を、右上は水（月）を意味している。



## 香 港

區 瑞 霞

大阪女子大学 文学部

香港に人が住み出したのは紀元前2～3世紀、前漢の時代からといわれている。その後、漢民族の移住などもあったが、19世紀初頭までは海賊の巣窟として中央政府に知られる程度であった。

18世紀後半のヨーロッパの中国貿易は絹と紅茶が中心であった。清朝政府はその対価として銀での支払いを条件にしていた。赤字に苦しむイギリスはアヘンを持ちこみ、禁止令にもかかわらず密輸を続けた。アヘンの流行に手を焼いた清朝政府は林則徐を派遣し、押取にかかった。イギリス軍は近代兵器で反撃に移った。これがアヘン戦争の始まりである。1842年8月の南京条約でアヘン戦争は終結したが、香港島は直轄植民地とされた。

1856年に香港籍の船アロー号が、珠江で中国将兵に船内捜索を受けたのをきっかけに、イギリス軍は再び戦争をしかけ、中国大陸へ深く侵攻した。天津まで進んだイギリスは天津条約を結ばせ、北京に公館を置くことを認めさせた。1860年には北京条約が結ばれ、ハウダリー・ロード以南の九龍半島とストーンカッター島がイギリスに割譲された。

イギリスの香港島開発はセントラルを中心に行われ、官庁や軍施設、金融機関などが建ち並びはじめた。アヘンの密輸と、中国人労働者を誘拐同然の手口で集める苦力貿易が中心になって、イギリスは巨額の富を蓄えた。

1895年に日本が日清戦争に勝利すると、イギリスは香港の防御、保護を口実に深圳川以南の新界の租借を要求し、1898年6月に租借期間99年の新界租借条約を結んだ。しかし、新界の住民の租借反対運動は激しく、引き渡しは翌年にずれこんだ。

ビクトリア港はイギリス領に囲まれた内港となり、金融、造船、倉庫などの産業に資本が投下され、中国貿易におけるイギリスの優位は、確立された。

港湾労働者や工場労働者も増え続けたが、1911年の辛亥革命以後は中国民族主義、共産主義が次第に浸透して労働運動も活発化した。

蒋介石のクーデターによる国共分裂、日華事変などにより、香港は上海にかわって活況を呈したが、1941年には日本軍の占領下に置かれた。

日本の敗戦後はイギリスの軍政下に置かれ、1946年に民政に復帰してから現在にいたる発展が始まる。1947年には中華人民共和国が成立。国共内戦の時には多くの難民が押し寄せ、人口は200万人を突破した。

また文化大革命には、香港の帰属をめくりデモやストライキが組織された。

80年代に入ってから、新界の返還問題などで香港の置かれた立場の不安定さが露呈された。1984年12月に中英両政府は共同声明を発表し、99年間の新界の租借期間が切れる1997年6月30日をもって香港を中国に返還することを公表した。同時に中国政府は、香港をその後50年間、資本主義体制のままおくことを約束し、現在は小康を得ている。

注：資料は『香港』（教育社62年）による。



## 奉仕は私の職業

ソウル麻浦R.C.会長 林 隆 義

恵聖病院院長・医協総務理事・病協広報理事・延世医大外来教授（京都西南R.C.）

韓・ソ国交樹立の話が活発に議論されていた去年、ソ連の二人の子どもが治療を受けるため林隆義会長の招請で来韓した。1990年9月14日12時40分ソ連旅客機便で金浦航空に到着したザナトシセノブ（9才）とマリムスユムサリエバ（7才）はカザフ共和国の国立児童病院で数年間にわたり白血病治療を受け続けてきた子どもらである。



二人は約3ヵ月間セブランス病院（延世大学校医科大学附属病院）に入院、無料治療を受けた。この子らの治療を取り持ちした人はソウル麻浦R.C.の林隆義会長である。この出来事は去年5月23日から28日までソ連アルマータで開催された世界核戦争予防医者総連盟会議（I P P N W）に出席した林会長が、カザフ共和国の国立児童病研究所側の要請を受け、大韓病院協会とセブランス病院に働きかけた結果のことである。

一方、二人の子どもを率いてきた国立児童病研究所のオマロバ血液課長をも延世医大で多様な医学研修をうけられるようにした。患児の治療費はセブランス病院が無料で、オマロバ博士の教育費と滞在費は大韓

病院協会が負担し、往復旅費は林会長の所属している親睦団体の南石会から出してもらった。

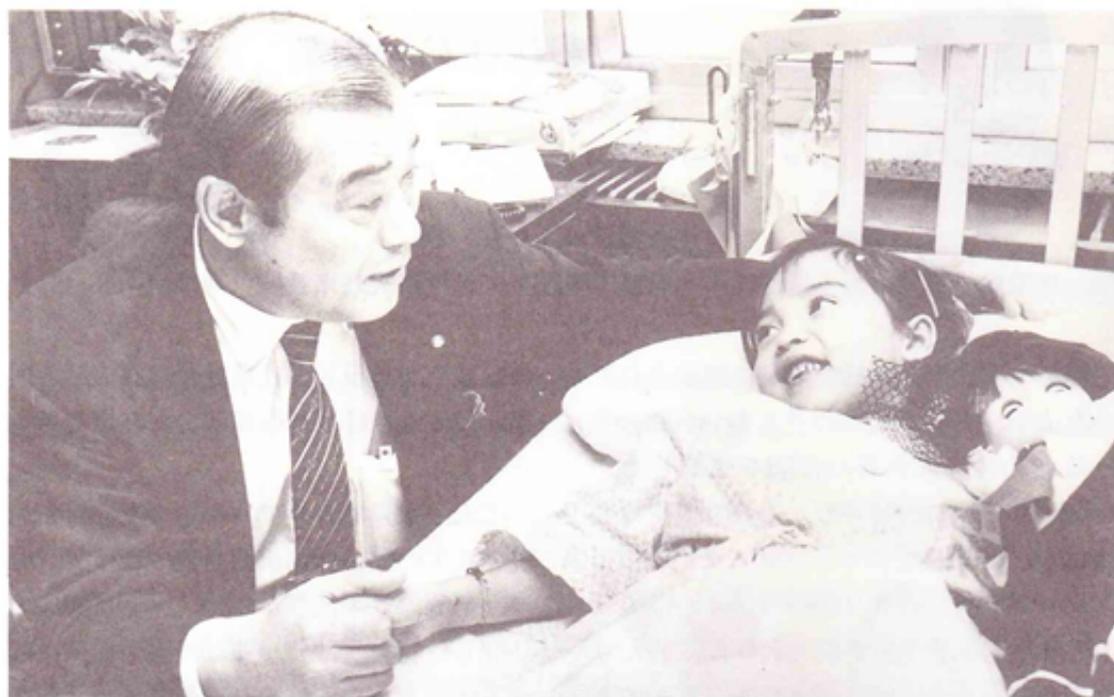
二人の患児はカザフ共和国の国立児童病院で数年の間白血病治療を受け続けてきたが、治療の効果はなかった。児童研究所を訪問した林会長は『ソ連は現在白血病に関する研究及び治療技術が遅れていて、薬など不足した状況』と説明する。

カザフ共和国の保健省から感謝の手紙と韓国医学界との交流および共同シンポジウム開催を希望してくるや、韓・ソ民間外交に大きな影響を与える見込みである。



林会長は『ソ連ではいまこの瞬間にも核実験による白血病のため幼い命が死にさりつつある』といい、民間レベルでソ連カザフ共和国に白血病専門病院と研究所設立を推進するため、今年4月から始まる募金キャンペーンに多くの人が人類愛を持ち積極的に参加してくれることを唱える。600回以上核実験が実施されたカザフ共和国の悲劇は政府次元ではなく純粋民間次元により解決されるべきものだと強調する。

『今年9月に着工する病院は3百病床規



模にカザフ共和国側が土地と建築資材を提供し、約3億円の諸経費は我が側から支援する計画だ』『カザフ共和国の1千5百万人口の中50万人が核実験により放射能に被爆され白血病にかかっている』と林博士はいう。

林隆義博士は1974年に日本留学したとき京都の川を掃除していたロタリアンをみて非常によい印象を受けた。それから京都西南R. C. に1年間お世話になり歓送会にて『国に帰れば、日本ロータリーに対する恩返しに素晴らしいロタリアンになってみせる』いい、1978年6月1日漢成R. C. に入会、12年間100%出席する熱心さをみせた。その後、1988年10月麻浦R. C. を結成し3代目の会長に努めている。

雅号は“時温”である。時代を温かく生きていこう、ということであり、人生の目標でもある。なお“いつも喜びなさい、休まず祈りなさい、全てのことに感謝しなさい”というバイブルの教えに従い生きろうと努力する。

林博士は、12年間ナンジ島の住民たちに無料診療を行ってきていることや在ソ3世学生への奨学金を提供するなど、奉仕と愛

というロータリー精神を自分の職業を通じて120分発揮している。さらにこれからは東南アジアの学生たちにも奨学金を与え、国際的還元が必要であるという。まるで百済の石仏を浮かべさせる丸い顔が平和そのものを物語っているように見えた。まさに職業=奉仕=平和である。

（米山奨学生学友会（関西）  
幹事（学術）  
千 文 奉）

米山奨学生学友会  
OBの紹介

韓 国

1) 安 春植 (アン チュンシク)

- ① 現在の所属：漢陽大学経営学科教授
- ② 奨学生の時の所属：慶応大学大学院商学研究科博士課程
- ③ 奨学生の時の世話クラブ：東京RC
- ④ 奨学受給期間：1976.4～1979.3
- ⑤ 奨学生時代に感じたこと：日本は大変な国だ。
- ⑥ 米山記念奨学会への提言及び希望事項：米山学友会の「会報」を見た。
- ⑦ 米山学友会への提言及び希望事項：大いに交流を。
- ⑧ 自分が考えるロータリー精神というのは：社会奉仕
- ⑨ 自分がやっている奉仕は：韓国ロータリー米山記念奨学金学友会副会長として奉仕。
- ⑩ 連絡したい方々のために：韓国ソウル市城東区杏堂洞、漢陽大学経営学科  
TEL 02 (292) 3111 内線3748  
自宅TEL 02 (452) 8580
- ⑪ その他：韓日経商学会副会長



\* 後輩に与えたい言葉

- 1. 明白な目標設定と長期計画
- 2. 忍耐
- 3. 誠実

日 本

2) 重光世洋 (シゲミツ セイヨウ)

- ① 現在の所属：大阪産業大学工学部教授（水理学担当）
- ② 奨学生の時の所属：大阪大学大学院構築工学専攻博士課程
- ③ 奨学生の時の世話クラブ：大阪RC
- ④ 奨学受給期間：1962.4～1965.3（月額2万円）
- ⑤ 奨学生時代に感じたこと：受給当初は米山奨学事業の第2段階である米山奨学委員会の時代（1956年12月～1962年11月）であり、奨学生の数も少なく、また、現在のようなカウンセラー制度もなかった。しかし、世話クラブ会員の皆様には大変親切にしてください、またクラブ会員のお宅へも幾度か招待していただいた。当時の住宅（大学近くの風呂もないアパート、トイレは共同、家賃は電熱費を含めると約1万もした）および食糧事情は決して良くなかったこともあって、毎月クラブの例会に美味しい食事をいただけることが何よりの楽しみでもあった。1964年12月（東京オリンピックの年）にはR I 365地区（当時）の年次大会に招待され、フェスティバルホールで5分間のショートスピーチをさしてもらったことは終生忘れることのできない思い出である。感謝。
- ⑥ 米山記念奨学会への提言及び希望事項：ロータリーの愛の奉仕精神を真心より賛同できかつ実践のできるような奨学生の選考を期待するものである。
- ⑦ 米山学友会への提言及び希望事項：あまり大きく背伸びをしないで、私たちのできる奉仕から一步一步と着実に歩んで行きたいものです。会報には国内外会員の近況や現在の活動状況欄を設けては如何が。
- ⑧ 自分が考えるロータリー精神というのは：寛容なる愛であり、代償のない奉仕である。
- ⑨ 自分がやっている奉仕は：職業を通じて地域社会に、そして国際社会に奉仕すること。
- ⑩ 連絡したい方々のために：大阪府大東市中垣内3-1-1、大阪産業大学工学部  
TEL 0720 (75) 3001 内線3711
- ⑪ その他：米山奨学生学友会（関西）前会長  
： “ ” “ ” 相談役



## 出会い



## 出会い

大阪府留学生会館  
Senri international House

佐藤 和子

1990年4月1日、大阪府下に始めて公的な留学生のための宿舎が設置されました。大阪府が職員独身寮を改修整理し、大阪府国際交流財団（以下「財団」という）がその運営を実施しています。

大阪府留学生会館（以下「会館」という）

所在地	阪急南千里駅から徒歩5分
施設	敷地面積 6,178.62㎡ 居室 116室（1室14㎡エアコン付）
入居資格	私費留学生 居室使用料 月額 19,000円

環境抜群の会館は桜に囲まれ今春爛漫のよそおい、管理人を拝命いたした私は目下15ヶ国の留学生と起居を共にしております。去年はその桜を愛でるとまもなく突貫工事のうちにオープンしました。

希望とよろこびを胸に入居する学生達、迎える私達、これからどのような生活が待ち受けているのだろう。ふと、一抹の不安もよぎりましたが私は「お母さん」に徹しよう、人間、心はひとつではないか……と、自分に言い聞かせました。もちろん日常の悩みも無いわけではありませんがそれを吹きとばしてくれる程、学生達の礼儀正しさ、向学心に燃え必死でアルバイトしながら生活する姿、思いやり、やさしさ、明るさ、この出会いがあればこそ、むしろ生き甲斐すら覚える今日このごろです。

しかし、1年を振り返り、親子のような情感だけでは解決できない国際的な問題に直面するたび、如何に日本の行政が立ち遅れているか、一日本人として恥づかしさと、いらだちを痛感しています。たまたま米山奨学生学友会幹事の千文奉さんから学友会を紹介され諸先生、会員の皆様方の絶大なるご奉仕に感謝いたし、それを機に1冊の学友会誌に出会いました。拝読させていただきながら先生、留学生の方々の真摯なまでの1頁1頁に、唯々胸を打たれ勇気さへも湧く思いがいたしました。今、何をなすべきか、何故……。

DILEEP CHANDRALALさんの手記に感銘を受け、共感いたし、再度紹介させて頂くことにいたします。

DILEEP CHANDRALAL

## 出会い

平成2年2月1日に神戸大学国際交流センター主催で広島大学大学教育研究センターの江淵一公教授を講師として迎えて、『留学生増加のインパクト—21世紀留学生10万人計画の対応—』の演題で講演会が開催されました。

1988年広島で行われた『留学生問題をどう扱うか』の国際シンポジウムに参加した江淵教授がその会議で議論されたことを中心に留学生問題について、さまざまな受入れの傾向や問題点を詳しく述べました。留学生受入れについての観察として大変鋭くて、意味深い講演でした。

以下、この講演会で述べられたいくつかの問題点が留学生実際経験を交えて、具体化されます。

まず、行政機関レベルでの問題の一つです。最近、日本では外国人留学生が急激に増えてきました。経済大国の日本と発展途上国型のアジアというかわりによって留学生資格を利用して在留資格を求め人も増えてきました。そこで資格審査が厳しくなりました。というよりも行政側からゆがんだ見方が出てきました。希望者が自国で学校を卒業してから五年間以内日本留学に申請しなければならない。あるいは、なぜ日本語を習う必要があるかを将来採用されるビジネス機関を通して証明しなければならない。これが、私費留学希望者が日本で入学・入国手続きをするとき、関係の機関から彼らに要求される一つの暗黙の基準になっているようです。そこでは、留学目的として文化的理由がほとんどきかないみたい。日本への興味や日本との文化交流への希望などがとても理由にならないことが残念です。留学生と不法労働者を別々なアプローチで取り扱うべきではないでしょうか。

次に、大学レベルでの受入れ問題を考えてみます。特に、大学院レベルにいくと、国費留学生しか受入れない国立大学が日本にあります。また、日本語の読み書きや聴く能力が充分あっても、希望する大学の研究生として一年間過ぎないかぎり、その大学に入れないという条件を付ける国立大学もあります。日本の大学が私費留学生に対してこのような差別を付けながら閉鎖性を続けるなら、日本の国際教育の基盤全体が問われるに違いありません。

第三に、日本の大学の留学生の受入れにおいて、一方的受入れ傾向が圧倒的に強いというところに問題点を感じます。日本の大学にとって、留学生はいつまでも教育の対象だけです。研究パートナーとして受け入れることはありません。日本の先生方は「教育してやりましょう」という気持が強いようです。もちろん、私達は教育してもらうために日本に来ました。しかし、研究生活の成長につれて、留学生も日本の大学教育になにか与えるものを持つようになります。アメリカでは留学生のその力が認められています。博士課程の留学生が一般の学部生を指導することがあります。

日本の大学にはこのような受入れ制度がありません。日本の縦社会の中にこの

ようなことが制度的に無理でしょうか。私の知っている限り、神戸大学の文化学  
研究科の言語学研究室においては、日本人や留学生に関係なく、大学院生による  
teaching assistant制度を非公式に設けています。それはまた留学生が帰国して、  
大学などで教壇に立つとき、大変役に立ちます。

日本人の留学生受入れは、最近急速に拡大していますが、他の先進国と比較す  
るとまだ十分とはいえないことも事実です。なかでも、全体の約80%を占める私  
費留学生に対する施策は不十分です。経済的援助施設と共に大学などにおける受  
入れや教育指導体制の充実も望むところでございます。

資料：神戸大学国際交流センターニュース 1990年4月第49号

DILEEP CHANDRALALさんのご立派な所見、如何でしたでしょうか。研究者のお立場  
から主に学術と学校問題に集約されていますが、私はこの1年の体験から、更にひとつ住  
居の問題を声を大にして叫びたい。会館も女子3対男子7の割合でスタートしました。現  
段階では5対5、圧倒的に女子の希望者が多く、その上、会館は大阪府下の大学等に在籍  
する学生のみに限られている以上、他府県の学校に入学、合格と同時に退去せねばなら  
ない。公的、民間、何れの施設も実に少なく、一般マンション、アパートはこの物価高騰の  
折、学生たちにとっては筆舌に尽くし得ない苦勞が始まります。

DILEEP CHANDRALALさんの積極的、勇気あるご発言に相まって、私も真の国際交  
流の施策を速やかに具体的に実施していただけるよう、政府、自治体に対し切望してやみ  
ません。



# NEWS

○ おめでとうございます！

- ・黄 承国（堺R.C）会員が工学博士学位（大阪府立大学経営工学科）を取得し帰国されました。

帰省先：韓国慶南馬山市月影洞449番地

慶南大学校 工科大学 産業工学科

TEL.0551-49-2705

- ・區 瑞霞（堺おおいずみR.C）会員が大阪女子大学学芸学部（英文学専攻）を卒業し帰国されました。

帰国先：香港新界大浦大元邨泰榮樓 1302室

TEL.02-664-4949

○ 第9号の原稿をお待ちしています。

皆の雑誌を皆の手で作って行きたいと考えます。

つきましては次の要領でご投稿願います。

・テーマ：私の専攻、私の国

：我が国の文化や風習

：国際社会における留学生の役割

：紀行文や身の回りのことなど。

・原稿用紙400字詰め3～5枚まで（ワープロでも可）、写真1枚

・シメキリ：1991年9月10日

○ おめでたいことや、知らせたいことがあればお送り下さい。

お送り先：〒567

茨木市新郡山2-13-506

魏 栢良

FAX.0726-43-6158

# 米山奨学生学友会（関西）会則

制定 1986年 5月 1日

施行 1986年 5月 11日

改定 1989年 5月 27日

## 〔名 称〕

第1条 本会は、米山奨学生学友会（関西）という。

- 2 本会は、本部を国際ロータリー第266地区ガバナー事務所内に置く。主な連絡先は会長及び幹事長宅とする。

## 〔目 的〕

第2条 本会は、元及び現米山奨学生間の交流を通じて親睦及び互助を促進すると共に、国際親善及び世界の平和に寄与することを目的とする。

- 2 本会は、財団法人ロータリー米山記念奨学会の事業の発展に寄与することを目的とする。

## 〔構成員〕

第3条 本会は、正会員、準会員及び名誉会員をもって構成する。

## 〔会員の資格〕

第4条 本会の会員資格は、次のものとする。

- (1) 正会員は、元米山奨学生とする。
- (2) 準会員は、現米山奨学生とする。
- (3) 名誉会員は、本会の目的に賛同し、会の発展及び活動に援助・協力するロータリアン並びに会員の指導教授とする。

## 〔会員の権利〕

第5条 会員は、総会に出席して議事を審議並びに表決し、また本会の主催する諸般の活動に参加することができる。

## 〔会員の義務〕

第6条 会員は、会則の順守及び本会則第2条及び第15条の実施に当たっての協力並びに本会の規定した年会費を納入するものとする。

## 〔機 関〕

第7条 本会は、次に掲げる総会及び役員会を置く。

- (1) 総会は、全会員で構成した本会の最高議決機関で、毎年一回定期総会を開催する。ただし、会員の3分の1以上または役員会の請求があるときは、臨時総会を開催しなければならない。
- (2) 役員会は、総会に準じる議決機関で、全役員で構成し、毎年4回定例役員会を開催することを原則とする。ただし、会長または全役員の3分の1以上の請求があるときは臨時役員会を開催しなければならない。役員会に出席できない役員は、事前に会長または幹事長の了解を得て委任状または代理人をもって代行することができる。

### 〔審議事項〕

第8条 総会は、次の事項を審議し、承認する。

- (1) 本会の事業計画及び予算に関する事項
- (2) 会長及び幹事長の選出並びに役員承認に関する事項
- (3) 第2条及び第15条に係わる会員並びに役員提案に関する事項
- (4) その他、本会の運営上、重要な事項

### 〔役員会の任務〕

第9条 役員会は、次に掲げる事項を実行及び解決に務めるものとする。

- (1) 総会の決議事項
- (2) 第2条の目的及び第15条の活動に係わる計画・立案及び実行
- (3) 会員に難問が生じた場合の解決
- (4) その他、本会の目的達成に係わる事項

### 〔定足数〕

第10条 総会は、全会員の過半数（委任状を含む）の出席をもって成立する。

- 2 役員会は、全役員 $\frac{3}{2}$ 以上（委任状を含む）の出席をもって成立する。

### 〔表 決〕

第11条 総会における表決は、出席者の過半数の賛成をもって決する。重要議事は、出席者の $\frac{4}{3}$ の賛成をもって決する。重要議事には、会の解散、会則の改訂及び役員解任等が含まれる。ただし、可否同数のときは、議長が決するところによる。

- 2 役員会における表決は、出席者の $\frac{3}{2}$ 以上の賛成をもって決する。ただし、可否同数のときは、議長が決するところによる。

### 〔役 員〕

第12条 本会は、次の役員を置く。

会長 1名

副会長 4名

幹事長 1名

幹事 若干名（親睦、国際交流、学術、庶務、書記、会計）

- 2 会長及び幹事長は、公正な運営を図るため、それぞれ異なる国籍を有する者とする。会長、副会長及び幹事長は、正会員の中から選出するものとする。

### 〔役員を選出〕

第13条 会長及び幹事長の選出は、それぞれ総会に出席した全会員の無記名投票により行ない、過半数の得票をもって当選とする。ただし、得票が過半数に達しないときは、上位2位で決選投票を行ない、最多得票をもって当選とする。その他役員は、会長及び幹事長の推薦で総会の承認を受け選出する。

- 2 会長ノミニ一及び幹事長ノミニ一は会長及び幹事長の人気満了1年前の総会において前項の選出方法により選出するものとする。

### 〔役員任期〕

第14条 役員の任期は、2年とするが再任を妨げない。ただし、会長及び幹事長の任期は最長4年とする。

#### 【役員会の活動】

第15条 役員会は、第2条の目的を達成するため、必要に応じ、次に掲げる企画及び活動を行なう。

- (1) 親睦会及び座談会の開催
- (2) 新入会員の歓迎会の開催
- (3) 日本での修学を終え母国に帰国する会員の歓送会の開催
- (4) 日本における国際親善のための各種行事への参加
- (5) 他地区米山奨学生学友会との交流・連絡
- (6) 財団法人ロータリー米山記念奨学会との連絡
- (7) その他、本会の目的に沿う諸活動

ただし、政治に係わる一切の活動は禁じるものとする。

#### 【役員の仕事】

第16条 役員仕事は、以下のものとする。

会長：本会を代表し、会務を総括する。総会及び役員会の議長となる。総会及び役員会において採択された議案を遂行する。とくに、第2条及び第15条の目的を達成するため、幹事長と共に会員及び役員をリードする。

幹事長：総会並びに役員会その他の企画及び諸活動の実務及び雑務を総括する。会長と共に会員及び役員をリードする。

その他役員：会の細則をもって定める。

#### 【役員の出欠】

第17条 会長に出欠が生じた場合、役員会の承認を得た副会長が代行する。任期は前会長の残任期間とする。

- 2 幹事長に出欠が生じた場合は、役員会の承認を得た副会長が兼任する。
- 3 その他の役員及び幹事に欠員が生じた場合は、会長及び幹事長の推薦で役員会の承認を受け選出する。

#### 【会費】

第18条 会費は、正会員会費とする。

- 2 正会員会費は、年額とし、毎年（4月～5月）2000円の年会費を納入するものとする。
- 3 準会員は、年会費を免除する。
- 4 会費の改訂は、総会の議を経るものとする。

#### 【経理】

第19条 本会の経費は、会費、補助費及び他の収入で賄う。

- 2 会計年度は、毎年4月1日より翌年3月31日迄とする。
- 3 予算の執行については、会計監査人の監査を年2回受けなければならない。

〔会計監査人の選出・任期及び任務〕

第20条 会計監査人は、会長及び幹事長の推薦で、総会の承認を受け選出する。

- 2 会計監査人の任期は2年とするが、再任を妨げない。
- 3 会計監査人に欠員が生じた場合は、会長及び幹事長の推薦で、役員会の承認を受け選出する。ただし、任期は前任者の残任期間とする。
- 4 会計監査人の任務は、会の細則をもって定める。

〔相談役の委嘱及び任務〕

第21条 本会は、相談役を若干名置く。

- 2 相談役は、ロータリアンの中から役員会の決定で委嘱する。
- 3 財団法人米山奨学会の現理事及び監事、現地区ガバナー及び現地区米山奨学委員長は、相談役の対象となる。
- 4 本会の歴代会長及び幹事長も相談役の対象となる。
- 5 相談役の任期は、委嘱した年度から3年とする。ただし、再任を妨げない。
- 6 相談役の任務は、会の細則をもって定める。

〔補 則〕

第22条 本会則に定めない事項については、総会または役員会の議を経て別に定めることができる。

- 2 本会則の改正・補充削除は、役員会及び総会の決議をもって定める。
- 3 本会則の施行に当たっての運営方針及び細則は、役員会の議を経て別に定めることができる。



# 米山奨学生学友会（関西）細則

制定 1986年5月1日

施行 1986年5月25日

## 〔名称〕

第1条 本細則は、米山奨学生学友会（関西）細則（以下「細則」と称する）という。

## 〔内容〕

第2条 本細則は、会則に規定されていない役員、会計監査人および相談役の任務を規定するものである。

## 〔役員の仕事〕

第3条 役員の仕事は、以下のものとする。

副会長：会長の仕事を補佐する。会長が不在のとき、会長の要請を受け、会長の仕事を代行する。担当地区の会員の状況を把握する。

国際交流担当幹事：国際交流・理解および友好を深めるため、各種行事を企画する。会員相互、とくに正会員と準会員との親睦を促進するため、通信連絡をし、交流の機会を企画する。

学術担当幹事：会員の学術研究の向上を促進するため、論文集または各種研究情報を編纂し、会員に提供する。

親睦活動担当幹事：会員相互およびロータリアンとの親睦を深めるため、日本の社会的および文化的行事に参加する機会を企画する。

庶務担当幹事：総会および幹事会、または会の活動に必要な物品の購入を担当する。

書記担当幹事：総会および役員会における議事および決議事項を記録し、幹事長に報告する。役員会および役員として執行した全事項を記録し、保存する。

会計担当幹事：この会の会計全般を管理し、記録する。支出に係わる一切は幹事長の許可を得なければならない。

## 〔会計監査人の仕事〕

第4条 会計監査人は、この会の会計全般を監査する。その結果を総会に報告する。

## 〔相談役の仕事〕

第5条 相談役は、会則第2条および第15条に示す本会の目的および活動の健全な発展並びに向上に資するため、会員または役員を指導する。

- 2 会の運営上または会員に問題が生じた場合の諸事項に対し、相談を受け、指導する。

## 〔補則〕

第6条 本細則に定めない事項については、役員会の議を経て別に定めることができる。

- 2 本細則の改正・補充削除は、役員会の決議をもって定めることができる。

## 米山奨学生学友会会則「各大学代表」についての細則

### 〔各大学代表の選出〕

第1条 会長及び幹事長の推薦により、各大学より1名を選出する。各大学代表に欠員が生じたときも同様とする。

### 〔任 期〕

第2条 4月1日より翌年3月31日までの一年間とする。  
但し、再任は妨げない。

### 〔任 務〕

第3条 役員会に参加し、また役員会の決議事項を当該大学会員に伝達し、その遂行を勧告する。

会員が会に対して要望事項がある場合は、これを役員会において提案する。  
各大学代表、会員相互の親睦を促進するため、特に以下の事項を遂行する。

- 1 会員に学生生活上の障害が生じた場合には会長及び幹事長に相談する。
- 2 会の諸活動について当該大学会員に伝達し、その活動の便宜をはかる。



米山奨学生学友会 (関西)  
1990年度会計収支決算書報告

1991.5.5現在

収入の部

	科 目	金額 (円)	備 考
1.	1989年度の繰越し金	464,083	
2.	265地区援助金	100,000	
3.	編集委員会の繰越し金	42,574	
4.	富山さんの寄付	50,000	
5.	264地区援助金	200,000	
6.	266地区援助金	250,000	
7.	奨学会本部援助金	200,000	
	合 計	1,306,657	

支出の部

	科 目	金額 (円)	備 考
1.	役員会経費	183,692	'90 (6/17.10/10) '91 (4/20)
2.	通信連絡費	12,395	郵便切手代・諸案内
3.	学友会会報第6・7号 —表紙・編集委員団の活動費・校正	110,000	
4.	編集委員会 (印刷・雑費)	157,676	
5.	新年会 (1/19)	58,102	
6.	雑費	64,534	写真代・文具
	合 計	586,399	
	次年度への繰越し金	720,258	

会 計 林 珠 雪

会計監査の結果、上記の収支について違いがないものと認めます。

会計監査 豊 田 秋 雄

## 米山奨学生学友会（関西）役員名簿

1991.5

会 長	魏 栢良[大阪经济法科大学] 〒567 大阪府茨木市新郡山2-13-506	[大阪平野R.C.] TEL.0726-43-6158 FAX.0726-43-6158
幹事長	Shrestha Manababa[大阪府立大学経済学研究科] 〒542 大阪市南区島之内1-3-25 御津大教会	[堺南R.C.] TEL.06-244-0515 FAX.06-444-1307
副会長		
(D-264)	金 美貞[京都市立芸術大学美術研究科] 〒540 大阪市中央区神崎町2-15 シンボニーアネックス 602号	[阪南R.C.] TEL.06-765-6172 FAX.06-765-8038
(D-265)	王 石明[京都大学美学美術史研究科] 〒615 京都市左京区北白川山元町2	[大阪西北R.C.] TEL.075-702-2445
(D-266)	Dileep Chandralal[神戸大学文化学研究科] 〒560 豊中市木町1-5-17	[堺西R.C.] TEL.06-854-7434
(D-268)	大塚 賢龍[甲子園大学経営情報学部] 〒532 大阪市淀川区三津屋北1-6-20	[堺東R.C.] TEL.06-301-3358 06-308-4070
幹事		
(庶務)	鄭 錫賛[大阪府立大学工学研究科] 〒591 堺市南長尾町3-1-11-340	[和歌山東R.C.] TEL.0722-52-0639
(親睦)	妻 貞烈[大阪市立大学文学研究科] 〒558 大阪市住吉区长居西1丁3-5-184	[大阪鶴見R.C.] TEL.06-692-7910
(学術)	千 文奉[大阪府立大学経済学研究科] 〒565 吹田市佐竹台1-2 大阪府留学生会館 C107	[堺泉北R.C.] TEL.06-835-5609
(国際交流)	Mohamedo Hedi Zayani[大阪府立大学経済学研究科] 〒565 吹田市佐竹台1-2 大阪府留学生会館 C101	[大阪R.C.] TEL.06-835-5604
(会計)	林 珠雪[神戸大学文学研究科] 〒650 神戸市西区学園西町4-1 神戸留学生会館 506号	[大東R.C.] TEL.078-795-4471
(書記)	李 幸禧[大阪大学文学研究科] 〒563 池田市鉢塚2-12-9 池田アパート 16	[大阪淀川R.C.] TEL.0727-54-1713
会計監査	豊田 秋雄[豊田歯科病院] 〒565 吹田市円山町15-28	[大阪西南R.C.] TEL.06-308-5177
顧問	重光 世洋[大阪産業大学工学部] 〒630 奈良市七条西1-11-19	[大阪R.C.] TEL.0742-44-5004

## 米山奨学生学友会（関西）各大学の代表

1991.5

### 《D-264》

- |        |                           |                  |
|--------|---------------------------|------------------|
| 大阪府立大学 | 崔 桓(工学研究科)                | [和歌山南R.C.]       |
|        | 〒591 堺市新金岡町3丁3-6-102      | TEL.0722-52-9491 |
| 大阪女子大学 | 蔡 昭慧(学芸学部)                | [堺おおいずみR.C.]     |
|        | 〒591 堺市中百舌鳥町7-1126 A8-301 | TEL.0722-86-6455 |
| 大阪芸術大学 | 王 幸珍(工芸学科)                | [堺R.C.]          |
|        | 〒661 尼崎市東園田町9-1-14        | TEL.06-498-6449  |
|        | 園田グリーンパーク 608号            |                  |

### 《D=265》

- |          |                            |                  |
|----------|----------------------------|------------------|
| 京都大学     | 張 韓模(経済学研究科)               | [海南R.C.]         |
|          | 〒614 京都府八幡市男山弓岡2番地 B27-201 | TEL.075-981-0082 |
| 京都市立芸術大学 | 鄭 景禧(美術研究科)                | [京都洛西R.C.]       |
|          | 〒610-11 京都市西京区大枝杏掛町13-309  | TEL.075-332-7179 |
|          | サニテラス中川 306号               |                  |
| 同志社大学    | 姜 惠禎(社会学研究科)               | [京都R.C.]         |
|          | 〒601 京都市伏見区深草下川原町50-3-303  | TEL.075-645-4939 |
| 立命館大学    | 李 慶忠(経営学部)                 | [京都西R.C.]        |
|          | 〒604京都市中京区西の京式部町43         | TEL.075-822-3148 |
| 滋賀大学     | 鄭 素珍(経済学部)                 | [長浜R.C.]         |
|          | 〒522 彦根市佐和町9-30            | TEL.0749-23-0661 |
| 福井大学     | 李 光式(工学部)                  | [福井南R.C.]        |
|          | 〒910 福井文京2-7-18            | TEL.0776-23-0500 |
|          | 牧の島メゾンホール 302号             | (内線820)          |
| 奈良女子大学   | 李 永嬉(人間文化研究科)              | [平城R.C.]         |
|          | 〒630 奈良市法蓮南町14 佐保川ハイッ103号  | TEL.0742-27-7023 |
| 奈良教育大学   | 蔡 貴華(教育学部)                 | [奈良大宮R.C.]       |
|          | 〒545 大阪市阿倍野区元町15-8 アミティ北島  |                  |

### 《D-266》

- |        |                                 |                  |
|--------|---------------------------------|------------------|
| 大阪大学   | 金 守基(医学研究科)                     | [大阪西南R.C.]       |
|        | 〒560 豊中市侍兼山1-1                  | TEL.06-855-9056  |
|        | 大阪大学国際交流会館 13-212号              |                  |
|        | 王 敏東(文学研究科)                     | [大阪淀川R.C.]       |
|        | 〒563 池田市鉢塚2-12-9 池田アパート 2       | TEL.0727-53-5149 |
| 大阪市立大学 | 李 静淑(経済学研究科)                    | [奈良西R.C.]        |
|        | 〒558 大阪市住吉区我孫子4-10-21           | TEL.06-692-9571  |
|        | ハイム我孫子 306号                     |                  |
| 大阪教育大学 | 莊 淑媚(教育学研究科)                    | [堺R.C.]          |
|        | 〒562 箕面市小野原東4-24-29 ハイマウンド 205号 | TEL.0727-27-3127 |
| 大阪工業大学 | PRADHAN,JAYA RAM(工学研究科)         | [宝塚武庫川R.C.]      |
|        | 〒535 大阪市旭区大宮5-16-1              | TEL.06-952-4891  |

### 《D-268》

- |      |                    |                 |
|------|--------------------|-----------------|
| 神戸大学 | 尹 美蘭(文学研究科)        | [泉大津R.C.]       |
|      | 〒544 大阪市生野区中川2-5-3 | TEL.06-754-6991 |
|      | 川辺ビル149 404号       |                 |

## 米山奨学生学友会(関西)機関誌発刊を援助する会

### 5号

谷口 勉	谷口歯科診療所	大阪難波
段 為梁	光明興業(株)	〃
竹久 勇	(株)テレトロニクス	〃
今川 隆	ヒカリ	〃
久保 忠義	協栄商事(株)	〃
西野 公庸	共永興業(株)	大阪堂島

### 6.7号

岩田 淳一	関石産業(株)	大阪大淀
中井 保	エー・ビー・シー開発(株)	〃
植原 敬一	植原敬一法律事務所	〃
森 廣太郎	オオヨド急運(株)	〃
津田 禎三	なにわ橋法律事務所	〃
矢野 巖	矢野巖税理士事務所	〃
横田 俊次	三建技術(株)	〃
杉村 章二	太陽流通センター(株)	〃
富永 正蔵	オリンピア製菓(株)	〃
河野 烹	日本ホーミング(株)	〃
長谷川英一	(株)セントラル建装	〃
村野 康	村野商業写真事務所	〃
和田 正昭	昭和電気(株)	〃
浅田 秀夫	(株)末広酵素研究所	〃
平野 茂夫	(株)丸誠エンジニアリング	〃
持田 力	持田繊維(株)	〃
浅井 晴雄	昭文堂印刷(株)	〃
(順不同)		

## 編集後記

- 学友会の会員が毎年変わるため、役員の選定や活動は大変である。そのため原稿集めもそう簡単ではない。だが、先輩たちのご苦勞のおかげで「学友会(関西)」もかなり広く知られ、活動しやすくなったのは事実である。本当に感謝する。
- これからの方向に合わせて会員の専攻話やOBたちの活動ぶりに重点を置いたつもりである。学業を終え、それぞれの国に帰り、それぞれの分野で立派に活動なさっておられる先輩たちの姿は、我々後学にとっては大きな力となる。
- 前号と同じく「校正」は、日本語の文章として構文的な誤りがあっても、原則的に内容には手を加えないで「てにをは」のみを訂正するようにした。
- 「国際化」という言葉はもうすっかり耳に馴染んでいる。だが、実際とはかなりかけ離れているようである。真の国際化には、「通すより通じる」がぜひ必要であると思う。
- 美術挿絵の構想は古今東西の民芸や青銅器の紋案などを網羅して、図案化したものである。できるだけ簡略化したが、不足な点も沢山あると思う。今後はもっと高質な画面の為に皆様と一緒にがんばりましょう。
- 「米山奨学生学友会(関西)機関紙発行を援助する会」の皆様に深く感謝を申し上げる。

編集委員代表 千 文 奉

魏 栢良 金 美貞  
Shrestha manababa  
Dileep Chandralal  
大塚賢龍 王 石明  
林 珠雪 裴 貞烈  
許 紫芬 千 文奉

・表紙について:「私達、若者が世界のどこでも国境なしに羽ばたき自由に考えることができるように」と、米山奨学生の時に学んだロータリー精神を活かした作品である。  
米山奨学生学友会(関西)D-264副会長金美貞(京都市立芸術大学大学院美術研究科映像芸術専攻)

・挿絵について:京都市立芸術大学で日本画(修士)を専攻した王様の作品である。米山奨学生学友会(関西)D-265副会長王石明(京都大学文学部美学美術史料で「中国宋代絵画」専攻。)

米山奨学生学友会（関西）会報第8号

1992年5月26日 発行

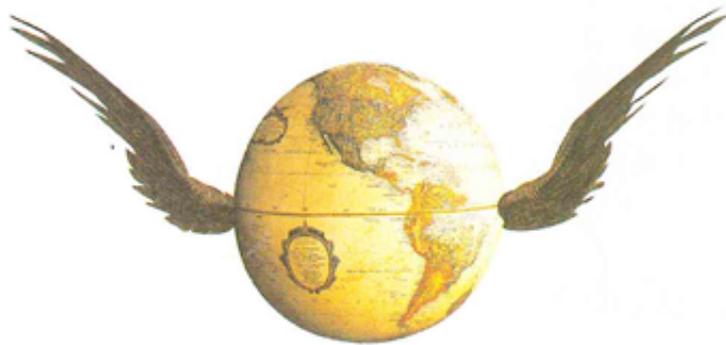
発行者：米山奨学生学友会（関西）

〒567 大阪府茨木市新郡山2-13-506

魏 栢 良

TEL 0726-43-6158

FAX 0726-43-6158



ROTARY  
YONEYAMA  
SCHOLARSHIP  
ALUMNI  
ASSOCIATION

